

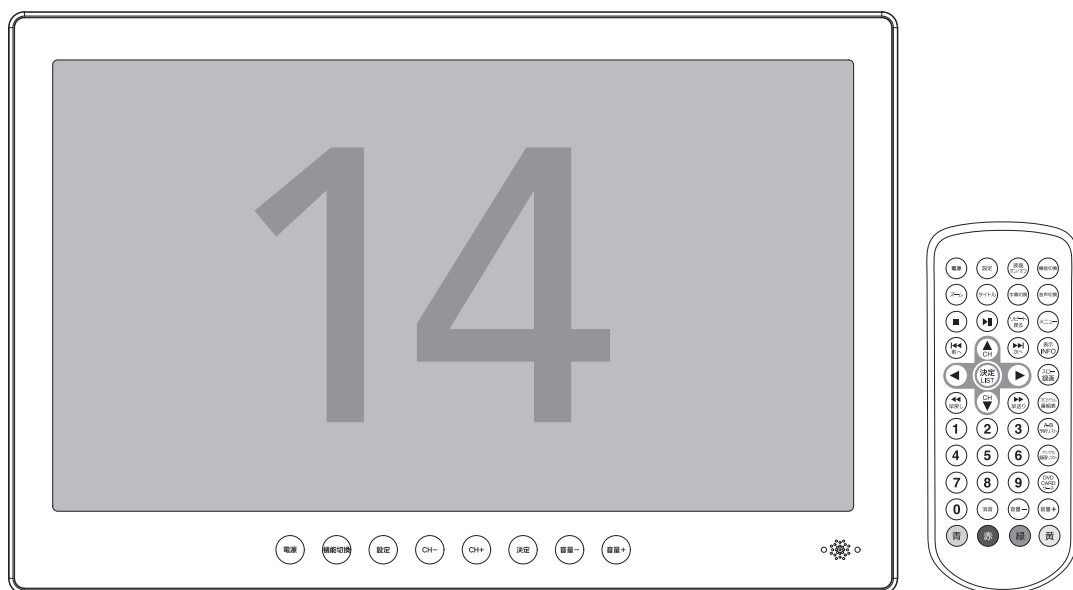
OVER TIME[®]

v1.0

14インチ 防水 フルセグ DVDプレーヤー

品番: OT-WFD14TE-WH

取扱説明書 〈保証書〉



本 体: IPX7の防水性能(防浸形)
リモコン: IPX6の防水性能(耐水形)

■ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、内容を十分理解された上、正しくご使用ください。

お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

目 次 (もくじ)

はじめに	3
安全上のご注意	3・4
使用上のご注意とお願い	5
付属品のご確認	6
ディスクについて	7・8
各部の名称 (本体)	9
各部の名称 (リモコン)	10・11
リモコンについて／リモコンの防水について	12
各部端子などの名称 (本体側面部)	13
miniB-CAS カードの準備	13
地上デジタル放送の視聴 〈視聴前の準備〉	14
〈電源コードをつなぐ／電源を入れる〉	14
〈放送局の登録〉	15～17
〈TV モードの操作・設定〉	18・19
〈録画機能を使う〉	20
〈録画用メディアの準備〉	21
〈録画関連機能の利用〉	22～24
〈受信レベルの確認〉	25
DVD/ オーディオ CD の再生 / 本体の防水について	26～31
DVD 設定	32～36
USB スロットについて	37
USB メモリーについて	37
USB 接続の再生	38・39
microSD カードスロットについて	40
microSD カードについて	40
microSD カードの再生	41・42
CD を録音する	43・44
外部機器と接続する	45
故障かな?と思ったら	46～48
その他の情報	49
製品仕様	50
保証規定・アフターサービス・免責事項	51
保証書	裏表紙

はじめに

本製品をご使用になる前に、以下の「安全上のご注意」「使用上のご注意とお願い」を必ずよく読み、正しくお使いください。

安全上のご注意	3
使用上のご注意とお願い	5
付属品の確認	6

安全上のご注意

本製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品は全て、間違えた使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながる恐れがあり大変危険です。

本製品および付属品をご使用されるときは、事故を防ぐため、以下の注意事項をよくご理解いただき、必ずお守りください。

 警告 この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。	
 高圧注意を表します。	 禁止を表します。
 必ず指示に従います。	

 注意 この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。	
 接触禁止を表します。	 分解・修理・改造禁止を表します。
 コンセントの扱いに注意してください。	

 警告	
 電源プラグをコンセントから抜くときに必ず電源プラグを持って抜いてください。濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。	
 電源コードが損傷したり電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグの冷えたことを確認してコンセントから抜いてください。コードを抜くときはプラグを持ちながら行ってください。	
 雷が鳴り出したときは、本製品に触れないでください。誘導落雷により感電することがあります。	
 本製品の上に金属類、花瓶やコップなど水の入った容器をのせないでください。火災・感電の原因となります。	
 本製品の内部に金属類や燃えやすいもの、水分などが入ると、感電や火災の原因となります。	
 本製品を落としたとき、また落下物などで本製品キャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き出してください。	

安全上のご注意

⚠ 警告

-  本製品や電源コードの内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだりしないでください。
 -  電源コードを延長したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。火災や感電の原因になります。
 -  通風孔(放熱のための穴)をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因となることがあります。
 -   裏ぶたをはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。
- 下記の場合は、電源を切り電源プラグを抜いてからお買上げの販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。ご自身での修理は危険ですので、絶対になさらないでください。
-  ● 落としたりして機器が破損した
 - 機器の中にものが入った
 - 熱器具に近づける
 - 液や煙、音、または異臭がでる
 - 機器を雨や湿気にさらした
 - 電源コードや電源プラグが破損した
 - 途中でつぎ足したりして加工する
 - トラブルシューティングで対応できない

⚠ 注意

-  平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと、倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
 -  湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 -  直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。
 -  液晶パネルに衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因になります。
 -  音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
-  ● 本製品をあお向けや横倒し、逆さまにする。
 - 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
 - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。
-  移動するときは、電源プラグ、外部との接続をはずしてください。
 -  旅行などで長時間ご使用にならないときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。
 -  お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

内蔵充電電池および電源アダプターの誤った使い方は、火災や感電、故障の原因になります。つぎの点にご注意ください。

※風呂場、シャワー室など湯気や湿気のある場所では接続したり、接続したまま使用しないでください。
※同梱の電源アダプター以外を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。※電源アダプターはAC100V50/60Hzのコンセントに接続してください。※電源アダプターを接続するときは電源を切ってください。※ご使用にならない場合は、電源アダプターをコンセントから抜いてください。※充電が完了したら、速やかに電源アダプターをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意とお願い

●デジタル放送のコピー制御について

本製品には付属の miniB-CAS カードを必ず挿入してください。デジタルテレビ放送ではコピー制御の為、B-CAS の機能を利用します。

挿入されないと、全てのデジタルテレビ放送が映らなくなります。カードを挿入していただくことで、地上デジタル放送の各番組をお楽しみいただけます。

(NHK や無料民放放送など)

デジタル放送は鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送をご視聴でき、また高画質のままに録画できることが特徴のひとつです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回ることになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすことになります。そこで地上デジタルテレビ放送局では、電波にコピー制御信号を加えて放送しています。コピー制御により、著作権を保護し魅力ある番組が製作されます。(ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します。)

●液晶パネルのドット欠けについて

液晶パネルには画面の一部に欠点(光らない点)や輝点(余計に光る点)が存在する場合があります。これは液晶パネルの製造上の特性に付き故障ではありません。

●本製品の温度について

本製品は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオディスクなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

●設置室内の温度について

液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。

●輸送について

本体を横倒しにして輸送した場合、液晶パネル部の破損や画欠点の増加などの恐れがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

●ゲーム機器との接続について

ガン(銃)タイプのコントローラーを使用するゲーム機器などは本製品では使用できない場合があります。詳しくは各ゲームおよびコントローラーの説明書をご覧ください。またゲーム機器の操作に対して、若干遅れて反応しているように感じられる場合があります。これは入力された信号が表示されるまでに、デジタル処理によるタイムラグが発生するため、故障ではありません。ゲームの種類や内容によっては、画面が欠けて表示される場合があります。

●お手入れについて

お手入れの際は、必ず本製品および接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞ってから拭き取り、その後乾拭きしてください。

*キャビネットの変質や破損・塗料剥がれなどの恐れがありますので、以下のことをお守りください。

- ・ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は注意書きに従ってください。
- ・殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。またゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長時間接触させないでください。

*液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護の為、以下の事をお守りください。

- ・パネルに硬いものや尖ったものを当てたり、強く押したり、こすったりしないでください。傷や変色の原因となります。
- ・パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラや変色の原因となります。
- ・パネルの汚れを拭き取る時は、ホコリの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷や変色の原因となります。

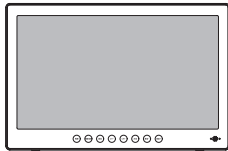
●本製品を破棄するときは...

一般の廃棄物と一緒にしないでください。ゴミ廃棄場で処分されるゴミの中に本製品を捨てないでください。本製品を破棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

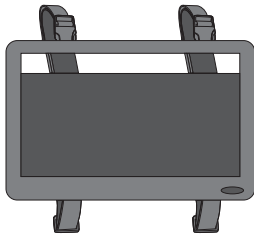
付属品のご確認

本機をご使用の前に以下の同梱品が揃っているか必ずご確認ください。
※予告なしで変更になる場合がございます。

●本品には後席同乗者が視聴時に便利な車載バッグが付属しています。渋滞時などで活用してください。



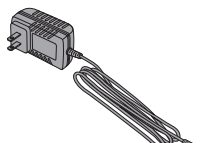
本 体



車載バッグ →



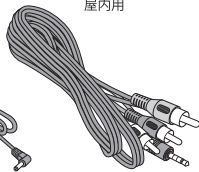
リモコン



ACアダプター
屋内用



カーアダプター
12V シガーライター用
24V、変圧器、分配器使用禁止



AVケーブル
(先端からL-R-V-G)
※市販品は合わない場合
がありますので同梱品
を使用してください



オープナー



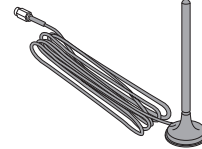
ボタン型乾電池
CR2025



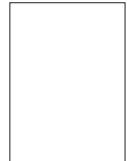
ミニB-CAS
カード
デジタル放送視聴用



室内アンテナケーブル



屋外用簡易アンテナ



本書
取扱説明書
兼保証書

車載バッグの取付及び使用方法



1 ヘッドレストのパイプに
ベルトを回して装着し長さ
を調整します

・電源、ディスクを入れます

2 本体をバッグに入れます

●リモコンで上手くいかない
場合は先にディスク等を立ち
上げてからバッグに入れて
ください

車載バッグ (ヘッドレスト用)

※上記画像は 13.3 型です

ご注意：

- ・ヘッドレストの形状によっては装着できません
- ・再生中衝撃を受けると映像や音が飛びます
- ・悪路や天候不順時は絶対使用しないでください
不具合を生じる恐れがあります

※画像とは異なる場合がありますが同等の物を付属します

■アダプター他当機純正付属品及び弊社提供品以外の、ご使用での不具合は無償対象外になります。

また他社機器のサポートはしておりません(接続方法や相性、動作確認ほか)

■同梱の電池はモニター用です。早く切れる場合があります。

■車シガーライター用カーアダプターは車によっては形状が合わない場合があります。

※その場合は使用はできません。外国車は特にご注意ください。

■リモコンは、他の赤外線対応の機器等に反応しますのでご注意ください。特に車に反応する場合がありますので注意してください。

・梱包箱や副資材他は差しつえがなければ、なるべく保管されることをお奨めします。

ディスクについて

再生可能なディスク 本機では、下記のディスクを再生することができます。

		(リージョン)	記録内容	サイズ
DVDビデオ	DVD DVD-VIDEO DVD-R DVD-RW	 	映像（動画） ＋ 音声	12cm
音楽用 CD	 		音声	12cm

本機では、下記のディスクを再生することができます。

- DVDビデオフォーマットのDVDソフト・DVD-R/RW
- VR モードで地デジ放送を録画し、ファイナライズ処理された CPRM 対応ディスク
- ビデオモードでアナログ放送を録画し、ファイナライズ処理された DVD-R/RW
- CD-DA フォーマットの音楽用CD・CD-R/RW
- MP3、WMA、JPEG の各形式でデータ保存された CD-R/RW

※上記ディスクであっても、録画に使用した「DVDレコーダー」「ディスク」と本機との互換性や相性により再生できない場合があります。ご了承ください。

※パソコンや DVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスクや極端に短い時間の動画／音楽データは再生できない場合があります。ご了承ください。

※ H.264 / MPEG4AVC 形式のファイルは非対応です。

※本機は NTSC テレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式（PAL, SECAM）表示のディスクは非対応です。

※ DVD±R DL には対応しておりません。また MP3 などのデータはコーデックエラー等により再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理が施されていないディスクは再生できません。

* CPRM について ...

CRRM とは Content Protection for Recordable Media の略で、コピーを制限する著作権保護技術のことです。デジタル放送をディスクに記録（録画）して再生する為には、CPRM 対応ディスクと再生機器が必要になります。

* ファイナライズ処理について ...

ファイナライズとは、データを記録（録画）する機器（DVDレコーダー）とその他の再生機器（本機）との互換性を持たせるために必要な処理のことです。DVDレコーダーでディスクに録画しても、ファイナライズ未処理の場合、録画したレコーダー以外の機器では再生することができません。

ファイナライズ処理は「データを記録（録画）する側の機器」でのみ施すことが可能です。

ディスクに関する用語

一般に DVD ビデオディスクは「タイトル」という大きな区切りと「チャプター」という小さな区切りに分かれています。音楽 CD は「トラック」で区切られています。

- タイトル : DVD ビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの
- チャプター : タイトルの内容を場面や曲ごとに小さく区切ったもの
- トラック : 音楽用 CD の内容を曲ごとに区切ったもの

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」などといいます。
(ディスクによっては番号が記録されていないものもあります)

ディスクの取り扱い方

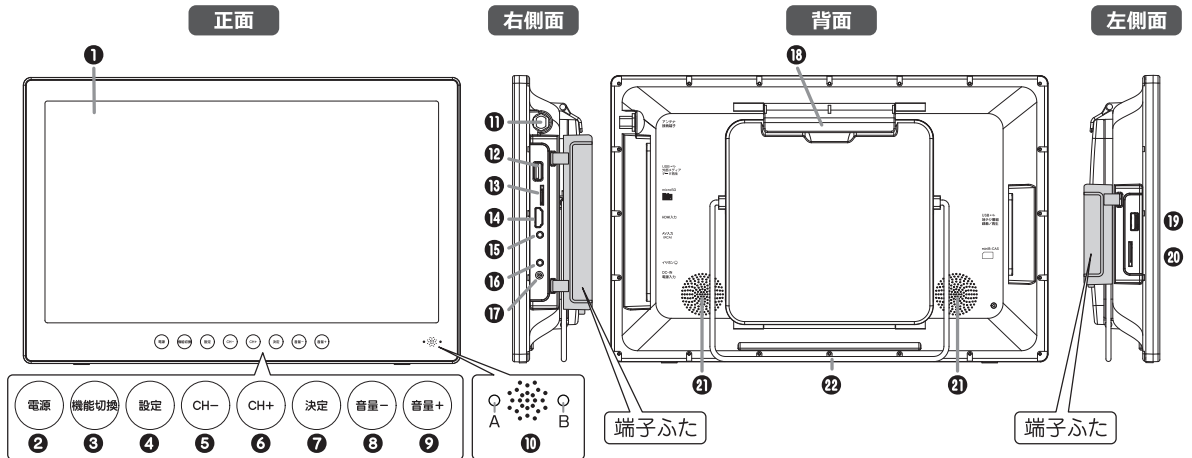
- ディスクの再生面には手を触れないこと
- ディスクに紙やシールなどを貼らないこと
- ディスクの再生面が汚れると、データ読込みに支障をきたし、画像の乱れや音質低下の原因となります。
指紋やホコリなどの汚れは柔らかい布などでディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- 汚れがひどいときは、水や薄めた中性洗剤を使い、柔らかい布で軽く拭き取った上で、乾いた布で仕上げます。



ディスクの保管について

- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所には保管しないこと
ディスクが変形したり記録データが破損する場合があります。
- ディスクはキズや汚れが付かないよう、専用のケースに入れて保管してください。

各部の名称（本体）



- ① 液晶パネル 視聴データを表示する画面です。
- ② 主電源スイッチ（入／切） 本体主電源の ON / OFF を行います。※OFF状態での予約録画はできません。
- ③ 機能切換ボタン 視聴するデバイスを選択します。
- ④ 設定ボタン 設定メニュー画面を表示します。
- ⑤ CH（－）ボタン 視聴する番組を選局します。
- ⑥ CH（＋）ボタン 視聴する番組を選局します。
- ⑦ 決定ボタン 選択した項目を決定 / 実行する時、チャンネルリスト表示に使用します。
- ⑧ 音量（－）ボタン 音量の調整を行います。
- ⑨ 音量（＋）ボタン 音量の調整を行います。

DVD/CD・USB・SD モードのときに本体ボタンのシステムが以下の通り変更されます。

本体 操作ボタン	⑤ CH（－）	⑥ CH（＋）	⑦ 決定	⑧ 音量（－）※	⑨ 音量（＋）※
DVD/CD モード	チャプター / トラック ▶▶ 送る	チャプター / トラック ◀◀ 戻る	決定(再生) 一時停止	◀◀ 早戻し (2×、4×、8×、16×、32×)	▶▶ 早送り (2×、4×、8×、16×、32×)
USB モード	選択カーソル 1 列下へ / 次へ	選択カーソル 1 列上へ / 前へ	決定	選択カーソル左へ (※)	選択カーソル右へ (※)
SD モード	選択カーソル下へ	選択カーソル上へ	決定(再生) 一時停止	◀◀ 早戻し (2×、4×、8×、16×、32×)	▶▶ 早送り (2×、4×、8×、16×、32×)

表示画面に操作パネルがない場合は、表示の通り音量調節がおこなえます。※ファイル再生中は音量調整します。

- ⑩ リモコン受光部 リモコン操作時に、こちらの方向に向けて操作します。
- 表示ランプ 本体や内蔵電池の状態を表示します。
A：電源ランプ…待機時（消灯） / 電源オン時（緑点灯）
B：充電ランプ…充電中（赤点灯） / 充電完了（緑点灯）
- ⑪ アンテナ接続端子 地デジ放送用アンテナと接続します。
- ⑫ データ再生用 USB 端子 音楽や動画のデータを視聴する時に使用します。 **外部データ再生専用**
- ⑬ microSD カードスロット 音楽や動画のデータを視聴する時に使用します。
※microSD カードに CD 録音可能 (P.43)
- ⑭ HDMI 入力端子 外部機器（DVD プレーヤーなど）から HDMI 入力する時に接続します。
- ⑮ AV 入力端子 外部機器（DVD プレーヤーなど）から RCA 入力する時に使用します。
- ⑯ イヤホン出力端子 イヤホンで音源を視聴する時に使用します。
- ⑰ DC 電源入力端子 電源アダプター（AC / DC）の端子部を挿入します。
- ⑱ ディスクカバー開 / 閉 DVD/CD をセットするためにディスクカバー開閉します。
- ⑲ 地デジ録画用 USB 端子 地デジ放送番組を録画用メモリーに録画する時や、録画データを視聴する時に使用します。 **テレビ番組録画専用**
- ⑳ miniB-CAS カード挿入口 ... 付属の miniB-CAS カードを挿入します。
- ㉑ スピーカー部 音声を出力します。
- ㉒ 設置用スタンド 本機を立て掛けて設置する際に使用します。

各部の名称（リモコン）

リモコンの各ボタンの説明です。

① 電源

電源のオン・オフをおこないます。
※このボタンで主電源の（入）（切）はできません。

② 設定／情報表示

機能設定画面を表示します。

③ 液晶オン／オフ

液晶表示をオン／オフします。
※地上デジタル放送の受信、DVD再生などは
継続しています。

④ 機能切換

以下を切り換えます。
DTV（テレビ）/DVD/カード（microSD）
/AV/HDMI/USB

⑤ ズーム

ズーム倍率を変更します。

⑥ タイトル

DVD のタイトルを表示します。

⑦ 停止

停止します。

⑧ 再生・一時停止

再生または一時停止します。

⑨ 前へ

前のチャプターへ移動します。

⑩ CH▲／▲

・CH▲：テレビ放送のチャンネルを選択します。
・▲：上方向への移動や選択をします。

⑪ ◀

左方向への移動や選択をします。

⑫ 決定／LIST

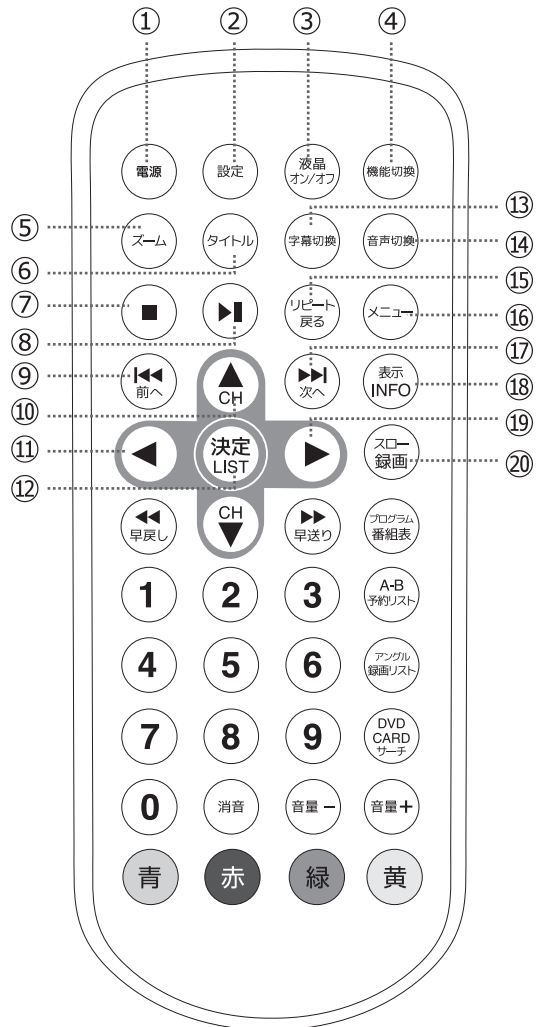
各種設定や選択項目を確定・実行します。
TVのチャンネルリストを表示します。

⑬ 字幕

字幕を表示します。

⑭ 音声

音声を切り換えます。



⑮ リピート／戻る

・リピート：リピート再生の設定をします。
・戻る：TVの1つ前の操作に戻ります。

⑯ メニュー

メニュー画面を表示します。

⑰ 次へ

次のチャプターへ移動します。

⑱ 表示／INFO

・表示：再生時間等を表示します。
・INFO：TVの視聴中の番組詳細やアンテナ受信レベルを表示します。

⑲ ▶

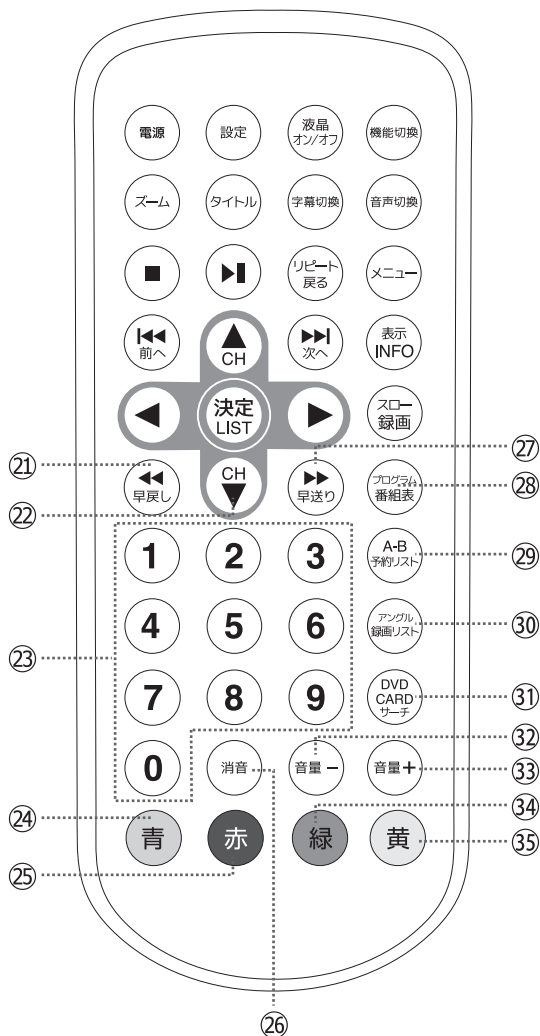
右方向への移動や選択をします。

⑳ スロー／録画

・スロー：スロー再生をします。
・録画：USB メモリーに録画します。

各部の名称 (リモコン)

- ②① **早戻し**
再生中のデータを早戻しします。
- ②② **CH↓／▼**
・CH↓：テレビ放送のチャンネルを選択します。
・▼：下方向への移動や選択をします。
- ②③ **数字**
場面や曲番号の直接入力をおこないます。
- ②④ **青ボタン**
番組表使用時や録画データ再生時に使用します。
- ②⑤ **赤ボタン**
番組表使用時や録画データ再生時に使用します。
- ②⑥ **消音**
音量を0（ゼロ）にします。（再度押すと解除）
- ②⑦ **早送り**
再生中のデータを早送りします。
- ②⑧ **プログラム／番組表**
・プログラム：プログラム再生の設定
・番組表：TVの電子番組表（EPG）の表示
- ②⑨ **A-B／予約リスト**
・A-B：任意の2点間を繰り返し再生します。
・予約リスト：TVの予約リストを表示します。
- ③① **アングル／録画リスト**
・アングル：DVD再生時のアングル切換
（対応ソフトのみ）
・録画リスト：録画リストを表示します。
- ③② **DVD・CARD／サーチ**
・DVD・CARD：再生メディアを切り換えます。
・サーチ：テレビ放送を再受信します。
- ③③ **音量－**
音量を下げます。
- ③④ **音量＋**
音量を上げます。
- ③⑤ **緑ボタン**
番組表使用時や録画データ再生時に使用します。
- ③⑥ **黄ボタン**
番組表使用時や録画データ再生時に使用します。



リモコンについて

リモコン用電池について

- リモコン用の電池は、ボタン型乾電池 CR2025です。
- この製品に同梱されている電池は動作確認用です。



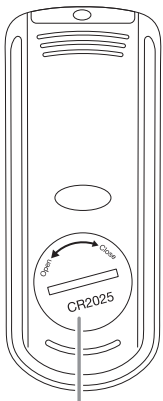
注意

電池の誤った使い方は、液もれや破裂の原因になります。つぎの点にご注意ください。

※ボタン型電池は幼児の手の届く場所に置かないでください。お子様がボタン型電池を飲み込んだ場合、中毒の原因になります。もし飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。※長時間で使用にならない場合は、電池をリモコンから取り出しておいてください。※電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。※交換する電池はCR2025のみです。※交換する時、電池の極性+/-に注意してください。

リモコン用電池の入れ方

リモコン背面



電池フタ

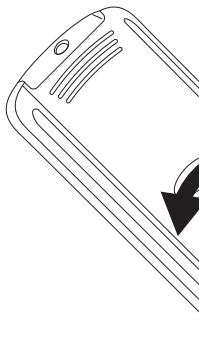


オープナー



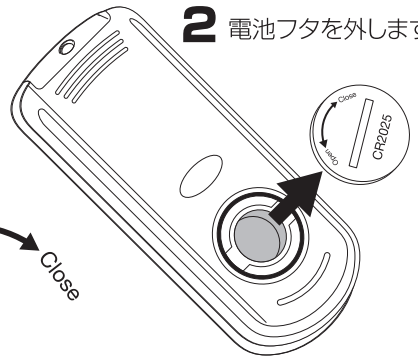
ボタン型乾電池
CR2025

1 リモコン背面の電池フタの凹みに付属のオープナーを合わせ、「Open」側にひねります。



Open → Close

2 電池フタを外します。



3 ボタン型乾電池 CR2025を+面を上にしていれます。



4 電池フタを取り付け、オープナーを使ってしっかり閉じます。



リモコンの防水について

リモコンはJIS IPX6(旧JIS防水保護等級6 耐水形)相当の防水に対応しています。

雨や水しぶきがかかる場所での使用もできますが、以下の点にご注意ください。

※JIS防水保護等級6耐水とは、全方向からの散水によっても、水の侵入を防ぐことができる防水構造を意味します。

したがって、お風呂のシャワー程度であれば使用することができます。しかし浴槽やプールなど水中に潜らせるといった行為については、防水性能を保証できません。

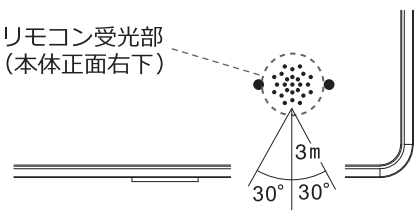
オープナーを使って、すき間が無いようにしっかりと閉じてください。

電池フタをしっかりと閉じた状態でIPX6等級の防水性能を発揮します。

リモコンの使用方法

- リモコンは本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンは本機から距離 3m / 左右 30° 以内で操作してください。
- リモコンと本機の受光部の間に物などを置かないでください。
- 太陽光など強い光の下では正常に動作しない場合があります。

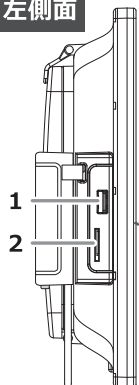
リモコン受光部
(本体正面右下)



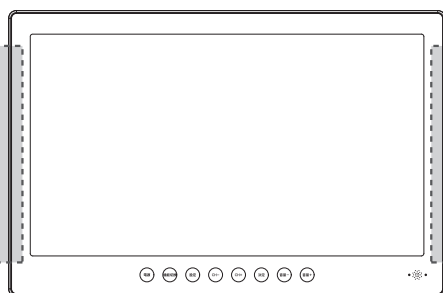
各部端子などの名称（本体側面部）

本体の左右にあるスイッチや端子の名称です。アンテナや外部機器と接続する際は各機器に対応した各端子と接続してください。

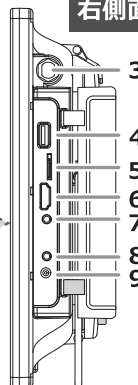
左側面



正面



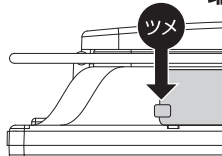
右側面



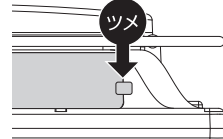
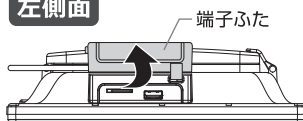
- 1 USB 入力端子
(地デジ番組 録画/再生用)
- 2 miniB-CAS カード挿入口
- 3 アンテナ入力端子
- 4 USB 入力端子
(外部データ再生用)
- 5 microSD カードスロット
(外部データ再生 / CD 録音用)
- 6 HDMI 入力端子
- 7 AV 入力端子
- 8 イヤホン出力端子
- 9 DC-IN 電源入力端子

端子ふたはパッキンになっています。端子ふたは、すき間、歪みが無いようにしっかりと押し込んで閉じてください。

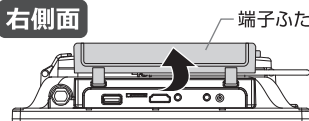
端子ふたの開け方 端子ふたのツメ部分に指を掛けて端子ふたを外します。



左側面



右側面



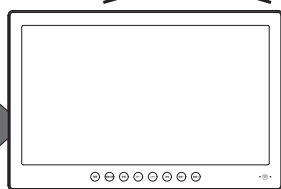
miniB-CAS カードの準備

地上デジタル放送を視聴する場合、miniB-CAS カードの常時挿入が必須です。下図を参照の上、カードの向きに注意しながら正しく挿入してください。

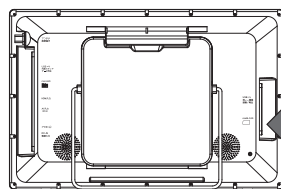
●miniB-CAS カードの正しい挿入方向：

カードの「角欠け部分」を上に向け、「角欠け部分」から挿入してください

本体正面から見た場合



本体背面から見た場合



挿入の方法

- ・miniB-CAS カードの挿入方向を確認し、「カチッ」と音になるまでまっすぐに押し込んでください。
- ・miniB-CAS カードを取り出す際は、カードの中央部を押し、まっすぐに引き出してください。
(カードの挿入/取出しをする時は、急に指を離さないでください)



注意

- カードの抜き差しは本機を電源コンセントからを外した状態で行ってください。
- miniB-CAS カードスロットにはカード以外の物を挿入しないでください。
- miniB-CAS カードの IC (集積回路) 部には手を触れないでください。

※miniB-CAS カードの取扱いにつきまして、詳しくは miniB-CAS カードの封入用紙をご覧ください。

※miniB-CAS カードの故障、破損、紛失などについてのお問合せ先：

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ / B-CAS カスタマーセンター TEL : 0570-000-250

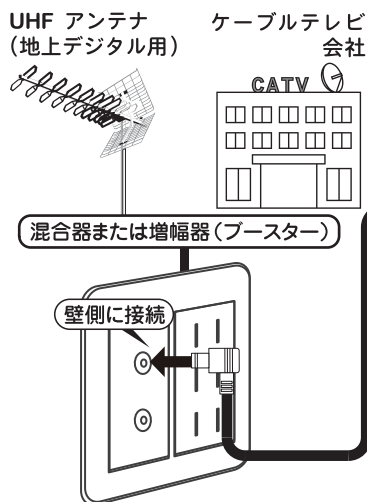
地上デジタル放送の視聴 〈視聴前の準備〉

地デジ放送受信用アンテナとの接続

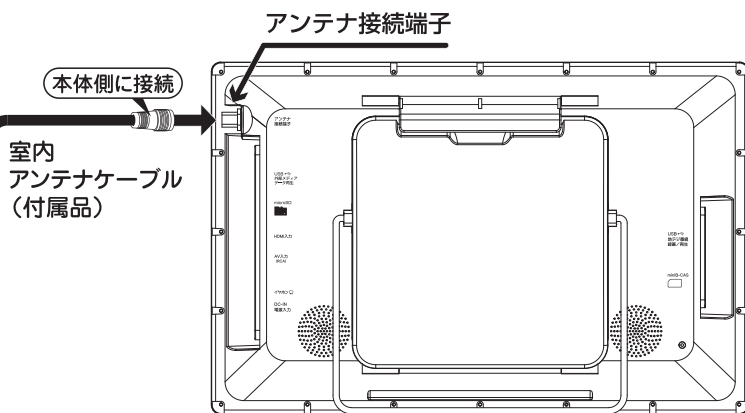
- 地デジ放送サービスのご視聴には受信用アンテナとの接続が必須です。各端子の形状などに注意して正しく取り付けてください。

1. 放送局の登録設定を行う場合(P.15～17 参照)

屋内などでご視聴される場合

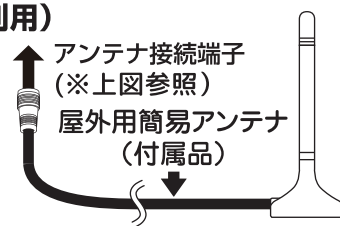


- 室内用の受信力の高いアンテナと本機を『F型端子付同軸ケーブル (下図)』を利用して接続してください。



2. 屋外などでご視聴される場合(付属の屋外用簡易アンテナを利用)

- 付属品の屋外用簡易アンテナは簡易的なものです。ブースター (電波増幅装置) 等は内蔵されていない為、屋内・地下・山間部等の電波が微弱な場所ではご視聴いただけない場合があります。この場合 (1) の通り、受信力の強いアンテナと接続してください。



注意

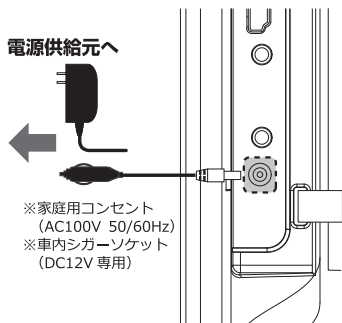
※本機は一般的な UHF アンテナとの接続により地デジ放送をご視聴いただけます。CATV (ケーブルテレビ) で伝送されている場合や共聴システムで伝送されている場合、伝送方式によってはご視聴いただけない場合があります。詳しくはお住まい地域の CATV 会社や共聴システムの管理者 (マンション管理者など) にお問合せください。

※アンテナ線を他の電気機器等に近接しないでください。受信障害の原因となる場合があります。

※付属品アンテナを利用した場合、他の機器 (携帯電話やラジオなど) で TV 視聴ができる場所でも、本機でのご視聴ができるとは限りません。予めご了承ください。

〈電源コードをつなぐ / 電源を入れる〉

端子ふたを外して接続します。



付属品の電源アダプター (AC アダプターまたは車載用 DC アダプター) と本体を接続し、コンセント側または DC 12V シガーソケットと接続します。電源アダプター接続後、本体に正しく通電されると、充電ランプ (赤) が点灯して充電が始まります。(充電中: 赤点灯 / 満充電時: 緑点灯) 通電中または充電池に蓄電された状態で本体の電源ボタンを押すと、電源ランプ (緑) が点灯して本体が起動します。

電源ランプ ○ ● 充電ランプ



- 注意 ● 本体起動後、画面が表示されるまで数秒かかります。
- 本機を長時間ご使用にならない場合は、電源プラグを抜いてください。

地上デジタル放送の視聴 〈放送局の登録〉



※当項目以降で記載する『ボタン』の名称(「XX」)は、主に『付属品リモコン』のボタン名称を記載しております。お手元に付属品のリモコンをご用意の上、ご参照ください。
(本体ボタンの場合「操作できない場合」や「該当ボタンがない」場合があります)



※付属品アンテナを利用してチャンネル登録作業を行う場合、設置場所等によっては「放送局が全く登録できない」「一部の局のみ登録される」などが起こる場合があります。

放送局の登録作業は「受信力の強いアンテナ」と本機を接続することを強く推奨しております。

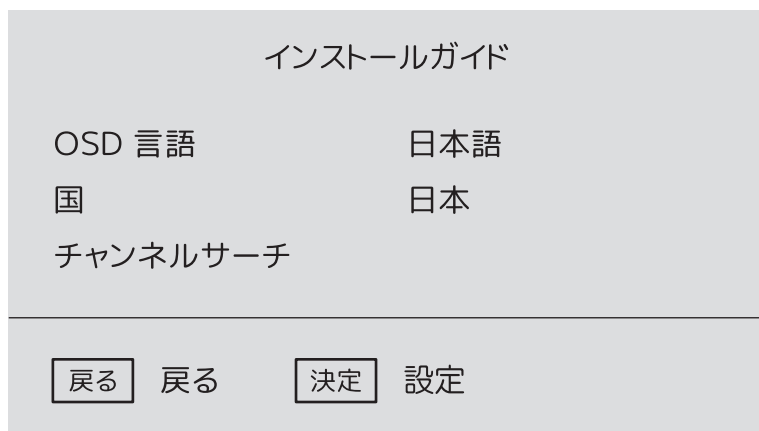
※受信力が強いアンテナ(共同アンテナなど)と接続してCH登録や視聴ができる場合は機器本体(TVチューナー)の故障ではありません。テレビ番組の視聴には「設置場所の電波環境が安定している」「アンテナが電波を正しく伝送できる」の条件が必要です。「付属品アンテナで視聴ができない」などのお問合せは対応いたしかねますので、予めご了承ください。

放送局(CH/チャンネル)の検索 / 登録設定

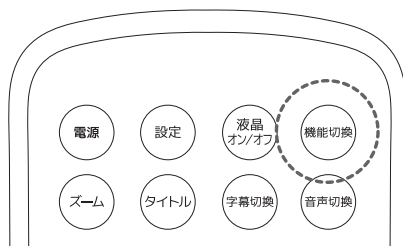
- お買い上げ初期時やお引越し等で本機の設置する地域が変更された場合、設置されたエリアで受信可能な放送局(チャンネル)の登録が必要です。

以下手順に沿って受信局の登録作業を行ってください。

- ① 主電源オフ(切)の状態ですべて「miniB-CAS」「アンテナ」が正しく接続されていることを確認します。(P.13/14 参照)
- ② 主電源をオン(入)にして本体を起動します。
- ③ お買い上げ初期起動時は下記画面(インストールガイド)が表示されます。OSD言語・国が『日本』であることを確認してから「決定」を押します。

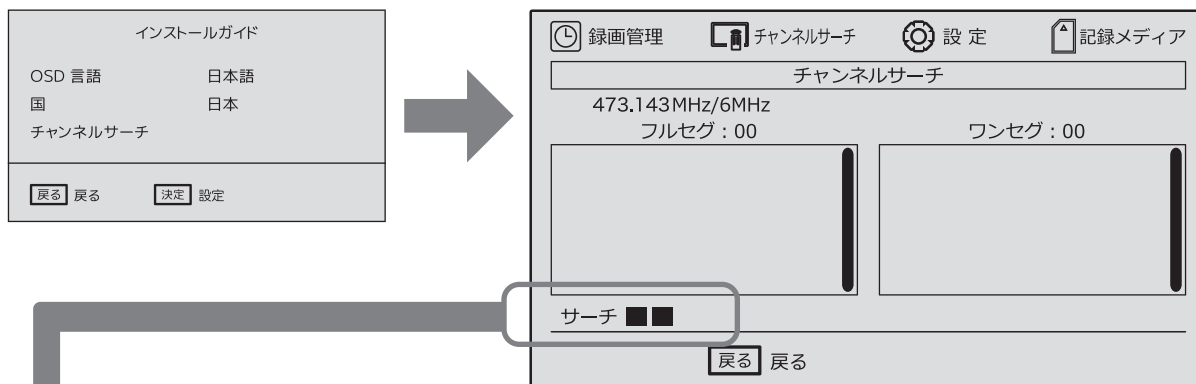


※お買い上げ初期起動時は「DTV(テレビ)」モードから始まります。
他のモードからテレビに切り換える場合は、「機能切換」ボタンでモードを「DTV」にします。



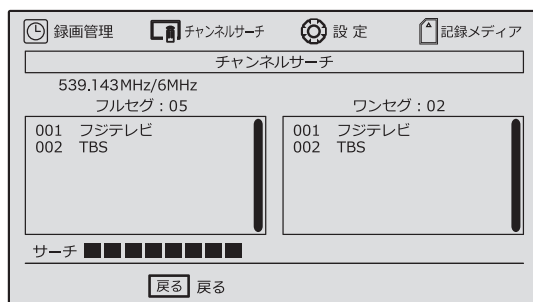
- ④ ③の通り「決定」ボタンを押すと画面が切り換わり、本機に登録可能な放送局の自動検索（チャンネルサーチ）が始まります。
- ⑤ 本機に登録された番組の放送が始まります。

(参照)CH 検索～登録設定の流れ



※CH検索中は上記枠内のメモリが左から徐々に増えていきます。
検索が終了するまで暫く時間がかかりますのでお待ちください。

※アンテナが放送局を受信できた場合、
放送サービス（フルセグ/ワンセグ）ごとに振り分けて自動で登録していきます。



放送局が登録された場合

- ※CHサーチ終了後、登録された番組放送が自動で始まります。
- ※受信レベルに応じた放送サービス（フルセグ又はワンセグ）で表示されます。
（放送サービスの優先度の設定については P.19 をご参照ください）



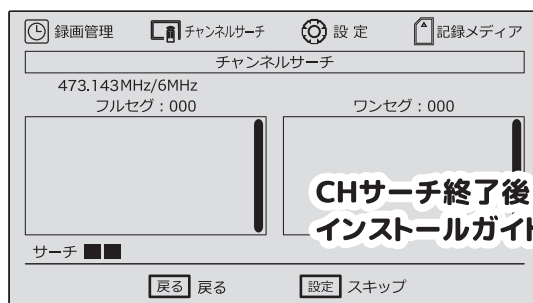
■ 登録局の確認

番組放送中に「決定」を押すと登録放送局のリストが表示されます。
リストに表示されていない放送局はご視聴いただけません。
登録漏れなどをご確認ください。

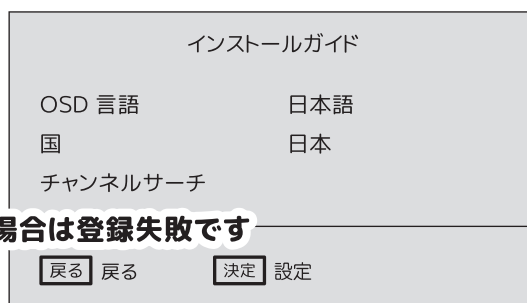
※リスト表示中の操作

「◀▶」：ワンセグ⇄フルセグのサービス切換え

「▲▼」：登録局選択タグの移動 「決定」：視聴チャンネル切換え



CHサーチ終了後、
インストールガイドに戻った場合は登録失敗です



登録が失敗した場合

※放送局の電波が正しく受信されずにCH登録が失敗した場合は画面表示が『インストールガイド』に戻ります。

下記をご確認の上、再度チャンネルサーチを行ってください。



便利機能ボタン(DVD・CARD/サーチ)

2回目以降のCH登録設定を行う場合、TVモード切換後に「DVD・CARD/サーチ」ボタンを押すだけでCH自動検索が始まります。

お引っ越しや長距離移動・登録再設定時に便利な機能ボタンです。

■ テレビ受信に必要な接続（アンテナ／B-CAS）を確認する（P.13/14参照）

■ 接続したアンテナの状態を確認する
（アンテナの場所や方向・共同アンテナやCATVの場合は伝送方法など）

（注）屋根に設置されたアンテナの交換や方向調整などの作業は危険を伴いますので、電気店やアンテナ設置専門業者等にご相談ください。

集合住宅などの共同アンテナでブースターや減衰器などを増設する場合、他の部屋に影響がでる可能性がありますので、事前に管理者等とご相談ください。



注意

※本機は一般的な UHF アンテナとの接続により地デジ放送をご視聴いただけます。

インターネット回線との接続による受信環境には対応しておりませんので予めご了承ください。

※CATV（ケーブルテレビ）会社や共聴システム等で伝送されている場合、伝送方式によっては本機ではご視聴いただけない場合があります。詳しくはお住まい地域（又はご契約）のCATV会社や共聴システムの管理者（マンション管理者など）にお問合せください。

※チャンネル登録作業や屋内等でのご利用の際は「受信力の強いアンテナ」との接続を強く推奨しております。付属品アンテナを利用した場合、「放送局が登録できない」「受信が安定しない」などが起こる場合があります。

※付属品アンテナを利用した場合、他の機器（携帯電話やラジオなど）でTV視聴ができる場所でも、本機でご視聴ができるとは限りませんので予めご了承ください。

※受信力が高いアンテナ（共同アンテナなど）と接続してCH登録や視聴ができる場合は機器本体（TVチューナー）の故障ではありません。テレビ番組の視聴には「設置場所の電波環境が安定している」「アンテナが電波を正しく伝送できる」の条件が必要です。「付属品アンテナで視聴ができない」などのお問合せは対応いたしかねますので予めご了承ください。

地上デジタル放送の視聴 〈TV モードの操作・設定〉

リモコンボタンの主な操作

① チャンネルの選局

「CH↑」「CH↓」

ボタンを押します。



② 音量の調整

「音量+」「音量-」

ボタンを押します。



③ 音声多重切換え

二ヶ国語（又は多重音声）放送の音声を切り換えます。

「音声切換え」ボタンを押します。

（※放送内容や番組により操作が無効となる場合があります）

「◀」「▶」ボタンで切り換わります。→主主→副副→主副→

音声切換え

④ 字幕放送

デジタル放送の字幕や番組からのお知らせが表示されます。

「字幕切換え」ボタンを押します。

（※放送内容や番組により操作が無効となる場合があります）

字幕切換え

⑤ 番組ガイド表示

視聴中の番組情報を表示します。

1. 「プログラム / 番組表」ボタンを押します。

2. 「▲」「▼」ボタンで番組を選択すると右窓に情報が表示されます。

3. 「リピート/戻る」ボタンで前の画面に戻ります。

プログラム
番組表

⑥ TV モードのメニュー設定

解像度や放送サービス（ワンセグ／フルセグ）優先度などを設定します。

「メニュー」ボタンでメニュー画面を表示します。

（メニュー詳細 P.19 参照）

メニュー

⑦ 受信状況（レベル）の確認（詳細 P.25 参照）

番組視聴中に「表示/INFO」ボタンを押します。

放送局の受信レベルや状態が確認できます。

1. 「表示/INFO」ボタンを1度押すと『右上に視聴中放送局のチャンネル番号』『下部に帯表示で番組名など』が表示されます。

（※CH 番号や帯表示はしばらくすると消えます）

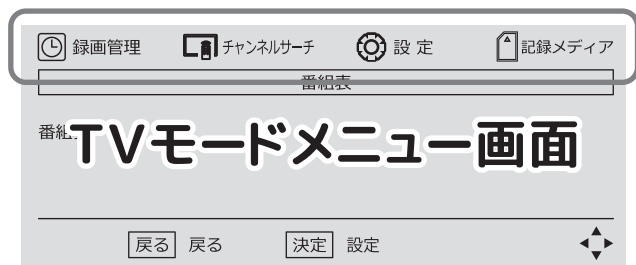
2. 「表示/INFO」ボタンを2度押すと視聴中の番組詳細やアンテナ受信レベルが表示されます。

3. 「リピート/戻る」ボタンを押すと視聴中の番組表示に戻ります。

表示
INFO

テレビ(TV)モードの設定メニュー

- 「メニュー」ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

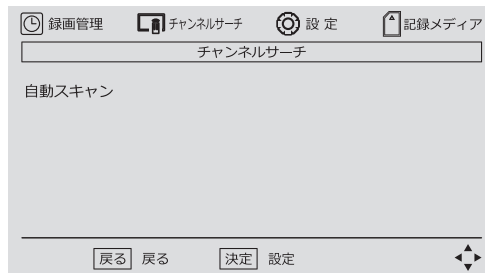


「◀▶」ボタンでタグ（ハイライト）を選択する項目に移動させてから「決定」ボタンを押します。

- 【録画管理】を選択すると録画に関する設定やリスト表示を行います。
(録画関連の詳細はP.20～P.23参照)



- 【チャンネルサーチ】を選択するとCH自動検索を開始します。
※「DVD/USB/サーチ」ボタンと同機能です。
(CH検索／登録は P.17 参照)



- 【設定】を選択するとTVモードの各種設定の調整や変更が可能です。

- 解像度：解像度を設定します。 ※初期値：1080P

480I → 480P → 720P → 1080I → 1080P

- 受信切替：放送サービスの優先度を設定します。

*自動(切替) *ワンセグ(固定) *フルセグ(固定) ※初期値：自動
(自動の場合、アンテナ受信レベルに応じて自動で受信サービスが切り替わります。)

- 工場出荷時設定：工場出荷時状態に初期化します。 *「決定」スタート *「戻る」終了
(工場出荷時状態に初期化すると登録したデータは全て消去されます。)

- デバイス情報：本機のシステム情報を表示します。

- ファームウェア更新：カスタマーサポート用項目(通常お客様は使用しません。)



画質や音声等の設定は全モード(DVD/AV/TV)に反映されます。

「画面が暗く感じる」「音質を変えたい」などの場合、本書P.32～P.36の【DVD設定】項をご確認ください。

地上デジタル放送の視聴 〈録画機能を使う〉

＜番組録画（予約）機能について＞

録画機能をご利用いただく前に、下記をよくお読みになり正しくご理解の上、ご利用ください。

- 本機は＜シングルチューナー＞搭載モデルです。裏番組録画機能（視聴番組以外の番組録画機能）はありません。
- 本機には録画用ディスク（メモリー）は内蔵されておりません。
録画機能をご利用になる場合は、市販のUSBメモリーを別途ご用意ください。
- 本機で録画したデータは MTS ファイル（拡張子 .mts）として保存されます。
- 録画機能をご利用になる場合、「TV モードであること」でのみ利用可能です。
他のモード（DVD/AV）利用中の場合、録画機能は自動で起動や作動はしません。
特に録画の予約を設定している場合、他モードに切り換えたりにすると TV モードが初期化される為、予約した時刻になっても録画されませんのでご注意ください。
- 録画中にモードを切り換えると、システムが切り換る為、録画が途中で強制終了します。
- 録画中は、録画中チャンネル以外の番組への切換えなどの操作はできません。
- 何らかの理由（受信レベルが落ちた、など）で録画が中断した場合、データが破損して再生できない場合があります。
- 番組ガイドは約 7 日後まで取得できます。番組ガイドで表示できない先の日付を予約される場合は「指定録画」で日時を指定してください。
- 同じ時間帯に重複した番組を録画することはできません。
- 録画したデータは本機以外の機器では再生できません。本機で録画したデータは本機でのみご視聴ください。
- コピー禁止の番組や外部機器（DVD プレーヤーなど）からの入力データを記録（録画）することはできません。本機で受信したテレビ放送の番組のみ録画が可能です。
- 著作権保護の為、本機で録画したデータの移動やコピーは絶対に行わないでください。
- 故障などの理由で本機を修理や交換した場合、以前に記録した録画データは視聴できなくなる場合があります。
- 本機で録画した録画データは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内でお楽しみいただく以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。録画データを個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内でお楽しみいただく以外に、許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
【録画した番組を自分のホームページや SNS などに載せる】 【録画した番組をメールなどで他人へ送る】
【録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸し出す】
- 著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もあります。録画機能やデータの取扱いは自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害などに関して、当社は一切の責任を負いません。

※録画機能をご利用になる場合、「TV モードであること」でのみ利用可能です。

主電源が OFF であったり、他のモード（DVD や AV）利用中の場合、録画機能は自動で起動や作動はしません。特に録画の予約を設定している場合、他モードに切り換えたり主電源を OFF にすると TV モードが初期化される為、予約した時刻になっても録画されませんのでご注意ください。

※録画機能をご利用になる場合、録画用として別途市販などの USBメモリーが必須です。本機側面にある録画専用スロットに USBメモリーが正しく装着されていない場合、録画機能は利用できません。

※外部メディアはメーカーや型式によっては正しく読み込まない場合があります。この場合、他メーカーの型式の USBメモリーで読み込みが可能かをお確かめください。

※外部メディアについての作動保証およびサポートは行っておりません。予めご了承ください。

※リモコンで電源を OFF にした状態（待機状態）の場合は録画が可能です。



注意

地上デジタル放送の視聴 〈録画用メディアの準備〉

録画機能を使用する場合、市販のUSBメモリーが別途必要です。
電気店などで別途ご購入の上、ご用意ください。

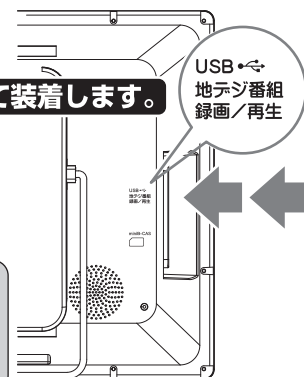
接続のしかた

図を参照に、USBメモリーを本機に正しく装着してください。

録画用 USB スロットに、挿入方向をご確認の上、
正しく装着してください。(奥までしっかり差し込んでください)

端子ふたを外して装着します。

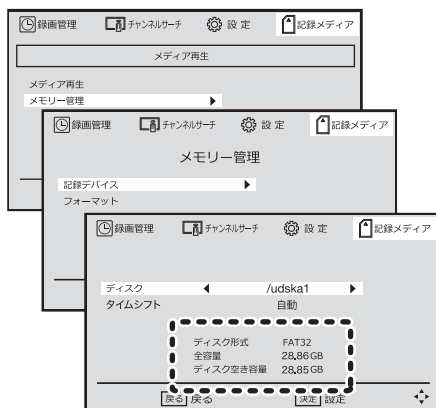
USB 地デジ番組
録画/再生



- ※録画用スロットに正しく装着してください。
- ※パソコンなどその他の機器で使用していたUSBメモリーを
本機で使用した場合、保存されているデータは消去される場合があります。
- ※本機で録画保存したデータは他の機器では視聴/再生は行わないでください。

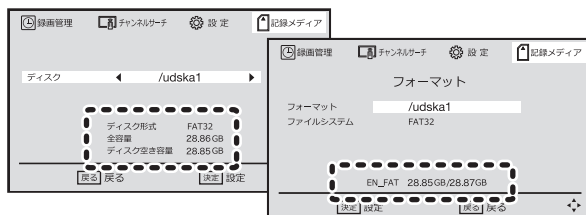
メディアの状態を確認する

下図を参照に、装着したUSBメモリーの状態が確認できます。



- ① リモコンの「メニュー」を押して設定メニューを表示します
- ② 「◀」「▶」で記録メディアにカーソルを合わせます
- ③ 「▲」「▼」でメモリー管理にカーソルを合わせて「決定」を押します
↓(メモリー管理画面に移行)
- ④ 「▲」「▼」でカーソルを記録デバイスに合わせて「決定」を押します
- ⑤ 記録デバイス (USBメモリー) の状態が表示されます
- ⑥ 「▲」「▼」「◀」「▶」で各カーソル移動/
「決定」で各項目を設定/「戻る」で前の画面に戻ります

*「正しくUSBメモリー装着していない」「本機でUSBメモリーを認識できていない」場合、
「ディスクが検出されませんでした!」と表示されます



装着したUSBメモリーが正しく認識されない場合、
下記ご確認ください。

- ① メモリー管理画面から、
〈記録デバイス〉または〈フォーマット〉に移行。
 - ② 枠内の情報を確認してください。
- ※点線枠内に現在装着中のUSBメモリーの状態が表示されます。



- 地デジ録画機能を使用する際はUSBメモリーの空き容量にご注意ください。
- ※USBメモリーの 空き容量が少ない場合、録画の予約ができません。また予約を設定して予約時間になった状態でUSBメモリーの空き容量が足りない場合、予約はキャンセルされて録画されません。
- ※USBメモリーの空き容量が 10MB を切ると全ての録画機能が使用できなくなります。

容量と録画時間

本機で USBメモリー に地デジ番組を録画する場合の大まかな目安です。

フルセグ録画	* 番組データ 1 秒あたり約 1.7MB の場合 ⇨ 容量 1GB あたり約 10 分間録画可 空き容量 15GB の USBメモリー を使用すると、合計約 2.5 時間分の番組を録画可
ワンセグ録画	* 番組データ 1 秒あたり約 0.04MB の場合 ⇨ 容量 1GB あたり約 7 時間録画可 空き容量 15GB の USBメモリー を使用すると、合計約 100 時間 (4 日分) の録画可

※大まかな目安です。放送番組のデータ量などにより変化しますので予めご了承ください。



- ※外部メディア (USB メモリー) はメーカーや型式によっては読み込まない場合があります。
- この場合、他メーカーや型式の USB メモリー で読み込み可能かをお確かめください。
- ※外部メディアについての作動保証およびサポートは行っておりません。予めご了承ください。

地上デジタル放送の視聴 〈録画関連機能の利用〉

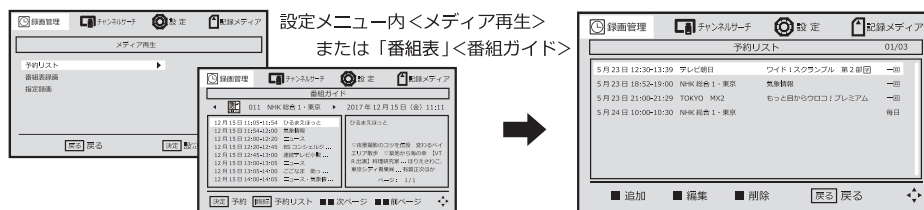
録画設定の優先順位について

録画機能の作動優先順位は以下の通りです。

「予約録画」 > 「ダイレクト録画」

* 「予約録画」とは番組表録画および指定録画で録画の予約を設定したものを指します。

録画予約を設定した日時や番組は〈予約リスト〉から確認や編集ができます。



* 録画予約を設定すると予約の設定が最優先設定となります。

※ 録画予約を設定する場合、予約設定時間の 5 分前までにダイレクト録画の停止をお勧めします。

(ダイレクト録画中に予約日時が来るとシステムに負荷がかかり、誤作動を起こす場合があります)

視聴中の番組を録画する (ダイレクト録画)

現在視聴中のテレビ番組を録画する方法です。



① 番組視聴中にリモコンの「スロー/録画」を押します。

② 画面中央に「レコーダー開始、お待ちください」と表示後、録画が始まります。

③ 録画を停止する場合は、リモコンの「■:停止」を押します。

④ 「録画を停止しますか。」と確認画面が表示されますので、カーソルを「決定」に移動し、リモコンの「決定」ボタンを押してください。

* USBメモリーの空き容量が足りない場合、「ストレージ・デバイスのディスクがいっぱいです。」と表示され録画されません。

* 録画中は画面左上に「録画中」と点滅表示されます

日時を指定して録画予約する (予約録画)



① リモコン「メニュー」を押して設定メニューを表示。

② 上段カーソルを「◀」「▶」で録画管理に合わせ「▲」「▼」で下段カーソルを指定録画に移動して「決定」。

③ 「▲」「▼」「◀」「▶」「数字ボタン」で予約録画したい放送局、開始時間、期間(録画する時間・分)を設定して「決定」。

④ イベント追加画面が表示されたら各項目を確認して「決定」。

⑤ 予約設定が成功すると予約リストが表示されます。

※ 予約リストが表示されたら設定を確認して「戻る」 ※ リスト上の設定を編集したい場合はカーソルを合わせて「緑」

※ そのまま別の指定録画設定を行なう場合は「赤」 ※ 予約設定を削除したい場合は予約項目にカーソルを合わせて「青」



録画機能をご利用になる場合、「TV モードであること」でのみ利用可能です。

他のモード (DVD/AV) 利用中の場合、録画機能は自動で起動や作動はしません。特に録画の予約を設定している場合、他モードに切り換えていると予約した時刻になっても録画されませんのでご注意ください。

タイムシフト機能を使う（便利機能）

<タイムシフト機能とは ...>

番組視聴中に「▶||:再生・一時停止」を一度押すと押したところで放送が一時停止！停止した場面の続きから録画用メモリーに録画していきます。再度押すと一時停止した場面の続きから視聴しているように感じる機能です。

【こんな時に便利】 ・好きな番組を視聴中「ちょっと用足しに行かないと」...
・ドラマなどのクライマックスシーンで「宅配便で〜す！」...

リモコン「タイムシフト」ボタンを押すと機能がスタートします

タイムシフト機能で使うリモコンボタンは「再生・一時停止」「停止」「決定」「戻る」です。

* タイムシフト機能の設定：

● 機能で使うメモリー容量の設定：

<設定メニュー> → <記録メディア> → <メモリー管理> → <記録デバイス> → <タイムシフト>
「◀/▶」（自動 / 1.0GB / 2.0GB / 3.0GB / 4.0GB から選択）

■ 番組視聴中に「▶||:再生・一時停止」を押すと ...



放送が一時停止状態になり
・画面左上に<録画中>
・画面中央右に<一時停止マーク>



一時停止状態の続きからデータ再生
・画面左上に<録画中>
・画面中央右に<再生マーク>
・画面下部に<再生/録画バー>



放送が一時停止状態になり
・画面左上に<録画中>
・画面中央右に<一時停止マーク>
・画面下部に<再生/録画バー>

* <再生/録画>ステータスバー



- * トータル時間表示：録画機能スタートから現在までの時間を表示します
- * 一時停止/再生時間表示：機能スタートから何秒（分/時間）後に一時停止したか、または再生しているかを表示します
- * 使用容量表示：設定したメモリー容量の中で、録画で使用中の容量（赤）と再生して空いた容量（青）を表示します
※一時停止状態で放置しておくとき青で表示されている空き容量がだんだん減っていきます
空き容量が無くなると続きからの放送視聴はできなくなります

■ タイムシフト機能を終了する場合：リモコン「■:停止」→「決定」で通常のテレビ視聴に戻ります。



注意

※録画用スロットに録画用メモリーが正しく挿入されていない場合や本機が認識できない場合、ディスクの空き容量が少ない（10MB以下）の場合、ダイレクト録画機能を使用しようとするとエラー表示が出て設定ができません。（〈ディスクが検出されませんでした！〉〈ストレージ・デバイスのディスクがいっぱいです。〉など）
エラー表示の原因をご確認の上、再度設定を行ってください。

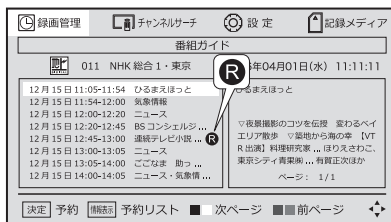


注意

※外部メディア（USBメモリーやHDDなど）はメーカーや型式などによっては認識されない場合があります。この場合、他メーカーや型式の外部メディアで読み込み可能かをお試ください。
※外部メディアについての動作保証やサポートは行っておりません。予めご了承ください。

（※録画用メモリーについての詳細は、P20～をご参照ください）

番組ガイドから録画予約する（予約録画）



- ① リモコン「プログラム/番組表」で番組ガイドを表示。
- ② 「▲/▼/赤/緑」で予約したい番組名に移動して「決定」。

番組名の右にⓇが表示されます。
※ <設定メニュー> → <録画管理> → <番組表録画> で、
番組ガイドの表示や録画予約も可能です。



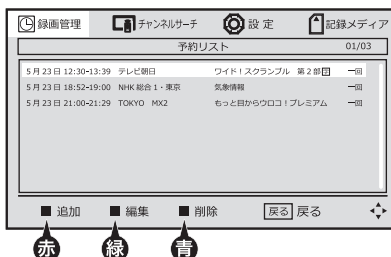
注意

※番組ガイドから録画の予約を設定した後に番組の延長や中止などで放送時間が変更になった場合、本機では自動的に録画時間の延長や番組移動による予約時間の変更などは行なわれません。
このような場合は予約リストから予約設定した時間帯を選択の上、手動で編集を行ってください。

例 10:00～11:00 までの放送局<A>の番組を番組ガイドから予約
→前の放送が急遽 10:30 まで放送延長になった為、番組は 10:30 からの繰り下げ放送になった
* 本機では予約時に設定した放送局<A>の 10:00～11:00 の放送が録画がされます

予約の確認・編集（予約リスト）

予約設定の確認や編集は予約リストから行います。



■予約リストを表示する

リモコン「プログラム/番組表」を押す(番組ガイド表示)→「表示/INFO」を押す、またはリモコン「A-B/予約リスト」を押しく予約リスト>を表示する。

■予約リストから確認や編集・削除などを行います。

- *「赤」：リスト外の他の日時指定予約を追加します
- *「▲」「▼」：リスト内のカーソルを移動します
- *「緑」：カーソルで選択した予約の設定を編集します
- *「青」：カーソルで選択した予約の設定を削除します
- *「戻る」：一つ前の画面に戻ります

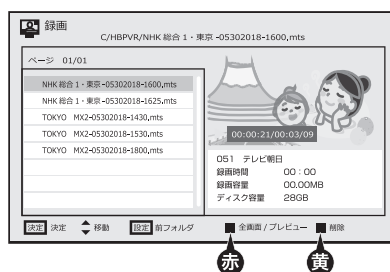
録画したデータの再生・削除

録画したテレビ番組データの再生や削除する方法です。

- USBメモリーはTV録画用USBスロットに接続します。
- 録画リストを表示する：以下の操作で録画保存したデータのリストを表示します。
* リモコン「アングル/録画リスト」を押す、または「メニュー」→「◀」「▶」<記録メディア> →
→「▼」<メディア再生> を選択 →「決定」
- 録画リストから再生や削除したいデータを選択・実行します。
*「▲」「▼」：リスト内のカーソルを移動
*「決定」：カーソル移動したデータを実行（再生）
*「▶||」：再生中データの一時停止／再生
*「戻る」：再生中データの停止
*「◀◀」「▶▶」：再生中データの早戻し／早送り
(押すごとに x2→x4→x8→x16→x32→解除⇐)
*「◀◀」「▶▶」：再生中データの前データへ／次データへ移動
*「赤」：画面サイズの切換え（全画面表示⇔プレビュー表示）
*「青」：再生データの再生開始時間の設定（Go to time 機能※）

※Go to time 機能：全画面表示の際に録画データのスタート時間を指定して移動する機能です。

(例) 録画時間 1 時間のデータで、40 分 10 秒後にスタート時間を指定して移動



- *「戻る」1回：一つ上のフォルダへ移動
- *「戻る」2回：テレビ放送視聴に戻る

録画データを削除する

- 録画リスト内の削除したいデータにカーソルを合わせ「黄」を押します。
選択画面表示（決定／戻る）されますので、
決定を選択して「決定」を押すとデータ削除が実行されます



注意

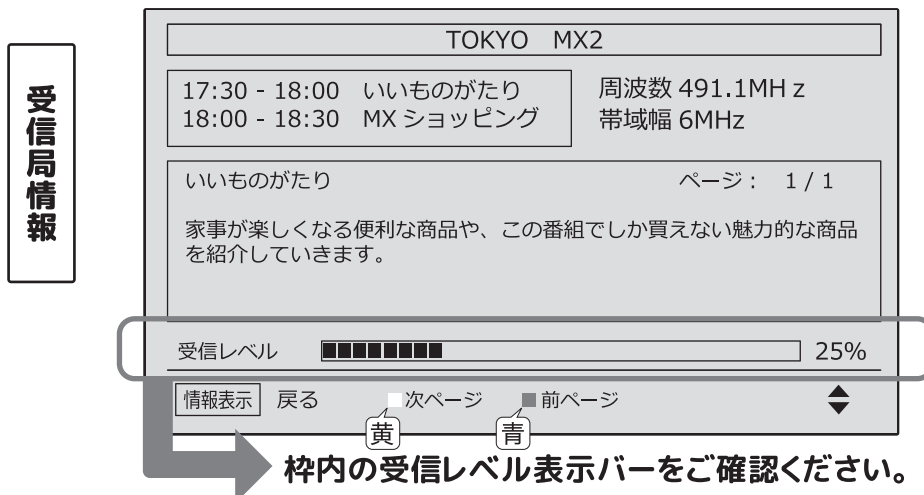
一度削除したデータを復元することはできません。

地上デジタル放送の視聴 〈受信レベルの確認〉

アンテナ受信レベルの確認

- 本機と接続したアンテナの受信レベルが低いと「映像が止まる（チラつく）」「音声が出ない（途切れる）」「フルセグで視聴できない」などの事象が起きる場合があります。下記操作手順でアンテナ受信レベルの確認が可能です。

番組視聴中に「表示/INFO」ボタンを2回押すと受信局情報（下図）が表示されます



枠内の受信レベル表示バーをご確認ください。

- ※受信レベルが低い（約 20%以下）の場合やレベルが安定しない場合、本機と接続したアンテナの受信レベルが低い為、安定したご視聴が難しい状態です。アンテナ側の状態などをご確認ください。
- ※付属品の簡易アンテナをご利用されている場合、受信レベルが 30 ～ 40%以上で安定する場所を探してアンテナ部分を設置してください。（推奨受信レベル：50%以上）
- ※放送サービスの優先度が「自動切替」又は「フルセグ固定」に設定されている場合、受信レベルが低い場所では「画面のフリーズ」「音声が出ない」などの事象が起きる場合があります。（優先度の変更は P.19 をご参照ください）



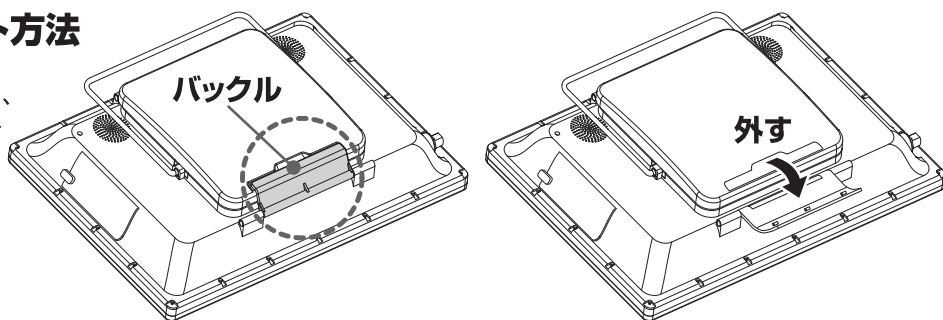
注意

- ※アンテナが正しく接続されていない場合、受信（視聴）はできません。
- ※建造物内、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔が無い（又は遠い）地域、地形、強力な電波を発信する施設の周辺、電波障害を受けやすい場所、その他電波の受信に影響を及ぼす場所などでは受信（視聴）できない場合があります。
- ※デジタル放送は受信レベルが低下すると「映像が止まる（乱れる）」「ブロックノイズが出る」「音声が出ない（途切れる）」など様々な事象が起こる場合があります。
- ※次の放送は受信（視聴）できません。
〈アナログ放送〉〈BS/CS 放送〉〈データ放送〉〈緊急警報放送〉
- ※放送エリアの目安は、社団法人デジタル放送推進協会のホームページをご参照ください。
- ※その他の不具合症状などが起きた場合、巻末のトラブルシューティングをご参照ください。

DVD/ オーディオ CD の再生

ディスクのセット方法

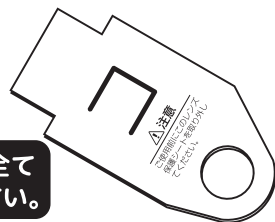
- 1** バックルを外して、ディスクカバーを開けます。



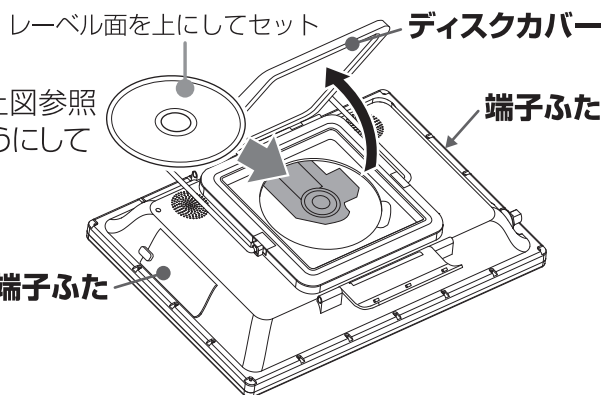
はじめて本機をご使用される時

はじめて本機でディスクを再生する場合、はじめにディスクトレイ内部にある「レンズ保護カバー」を取り出してください。(素材：紙)

※図の保護カバー（紙製）以外のトレイ内部のもの（レンズやコード類など）は全てディスクの読取りに必要なパーツです。無理に取り出さないようご注意ください。



- 2** ディスクをセットします。
はじめてお使いになるときは必ずレンズ保護カバーを取り外してください。※上図参照
レーベル面を上にして、記録面を触らないようにしてディスクをセットします。



- 3** ディスクカバーを閉め、バックルをしっかりと閉めてロックします。

本体の防水について

ディスクカバーにはパッキンがついています。また、端子ふたはパッキンになっています。ディスクカバーを閉じてバックルをしっかりと閉じた状態、端子ふたは、すき間、歪みが無いようにしっかりと閉じた状態でIPX7等級の防水性能を発揮します。

本体はJIS IPX7(旧JIS防水保護等級7 防浸形)相当の防水に対応しています。

一時的に一定水圧の条件に水没しても使用できますが、以下の点にご注意ください。

※JIS防水保護等級7 防浸形とは、常温の水(静水)の水深1mのところに機器を沈め、約30分間放置して取り出したときに、機器の機能が動作することを意味します。長時間の水没や「噴流水」のような強い短時間の水圧に対する防水性能とは異なりますのでご注意ください。

※お湯、洗剤や入浴剤が入った水などに入れないでください。 ※強い水しぶきをかけないでください。

※風呂場、シャワー室など湯気や湿気のある場所ではディスクカバーを開けないでください。

※水に濡れたあと、ディスクカバーを開閉するときはやわらかい布で十分に水滴を拭き取ってください。

※風呂場、シャワー室など湯気や湿気のある場所では電源アダプターや他の機器との接続をしないでください。

※風呂場、シャワー室など湯気や湿気のある場所ではディスクカバーが確実に閉まっていることを確認してください。

※風呂場、シャワー室などから本製品を移動するときは、すき間に水が付着している場合がありますので、やわらかい布で拭き取ってください。

※風呂場、シャワー室など湯気や湿気のある場所に本製品を長時間放置しないでください。

※ディスクカバーまわりのパッキンは防水機能を維持するための重要な部品です。ゴミ、汚れ、傷が付かないように充分気をつけてください。パッキンにゴミが付いたときは湿気や湯気のないところで拭き取ってください。

※以上の注意点を守らないで使用した場合、内部に水が侵入する恐れがあります。水の侵入による故障については保証期間内でも保証対象外となりますのでご注意ください。

DVD/オーディオCDへの機能切換

本機は起動時にTV視聴モードになっています。DVD視聴モードに切り換えます。

本体：機能切換ボタンを押す→「DVD」を選択→決定ボタンを押す
DVD/ オーディオ CD 視聴モード

リモコン：機能切換ボタンを押す→「DVD」を選択→決定ボタンを押す
DVD/ オーディオ CD 視聴モード

※機能の切替わりに時間がかかる場合があります。
表示を確かめてからボタンを押してください。



メニュー操作 (DVD)

リモコンを使つての操作をご案内いたします。
メニュー画面から再生したい項目を選択して
決定ボタンを押すと、再生が始まります。

再生中に を押す

メニュー画面が表示されます。

表示されるメニューはソフトにより異なります。

視聴していたシーンに戻るには を押します。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

●ディスクによっては を押すとタイトルメニュー画面が表示されます。

表示されるメニューはソフトにより異なり、操作は画面の表示にしたがってください。

視聴していたシーンに戻るには を押します。

※オーディオ CD 再生の場合は、ディスク読み込み完了後に自動的に再生されます。

一時停止

1. を押す

再生中に押すと一時停止します。

一時停止中は表示がでます。



2. 再度 を押す

通常の再生に戻ります。



停止

1. を押す

停止中は画面に表示がでます。

仮停止



2. を押す

ふたたび停止したところから再生がはじまります。

3. を2回押す

再生を停止します。

4. を押す

ディスクの最初に戻り再生します。

次へ/前へ

再生中または一時停止中に操作をします。

を押す

次のチャプター/トラックに移動し再生をはじめます。

を押す

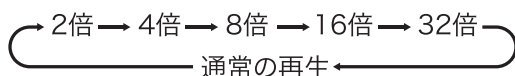
前のチャプター/トラックの先頭に移動し再生をはじめます。

早送り/早戻し

再生中に操作します。

を押す

押すたびに再生速度が5段階で切り換わり、5段階目で再度押すと通常の再生に戻ります。



同様に を押すと早戻し再生をします

スロー再生 (DVD)

再生中または一時停止中に操作します。

を押す

画面には速度が表示されます。

ボタンを押すたびに再生速度が下図のように遅くなります。



※スロー再生中は音が出ません。

を押すと通常の再生に戻ります。

※オーディオ CD には対応していません。

DVD/CDモードの本体ボタン操作

5 CH-... 早送り チャプター / トラック送る

6 CH+... 早戻し チャプター / トラック送る

7 決定 ... 決定(再生)、一時停止

8 音量-... 早戻し(2x、4x、8x、16x、32x)※

9 音量+... 早送り(2x、4x、8x、16x、32x)※

※長押しで音量を調節します。

リピート再生

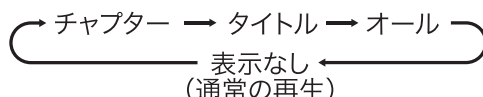
再生中のディスク/タイトル/チャプター/トラックを繰り返して再生します。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

を押す

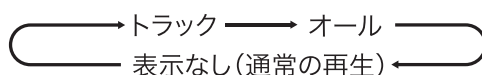
ボタンを押すたびに下記のような種類のリピートモードに切り換わります。

DVD



- チャプター:
選択したチャプターがリピート再生されます。
- タイトル:
選択したタイトルがリピート再生されます。
- オール:
ディスクのすべてがリピート再生されます。

オーディオCD



- トラック:
選択したトラックがリピート再生されます。
- オール:
すべてのトラックがリピート再生されます。

A-Bリピート再生

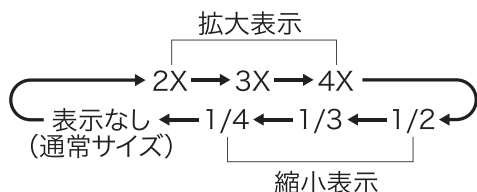
設定した範囲を繰り返し見たり、聞いたりすることができます。

- 映像や音楽を再生中、繰り返し見たり、聴きたい位置でリモコンの ボタンを押します。
- 終了位置で、もう一度リモコンの ボタンを押すと、画面上に「 AB」と表示され、指定した範囲を繰り返し再生します。
- 再度 ボタンを押すと、指定範囲をキャンセルします。

ズーム (DVD)

ズームを押す

ボタンを押すたびに倍率が切り換わります。画面には倍率が表示されます。



※表示される倍率は実際の倍率とは異なり目安です。

●拡大表示されているときには を押して画像を移動することができます。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

アングル (DVD)

複数のアングルが記録されたDVDを再生するときに、同じシーンを異なるアングルから見るができます。

再生中に を押す

ボタンを押すたびに異なるアングルに切り換わります。

※この機能が記録されていないDVDではこの機能は使えません。アングル対応かどうかはディスクのケースやジャケットをご覧ください。

音声切換

DVD

●複数の音声を記録したDVDを再生する場合、音声の選択ができます。

再生中に を押す

ボタンを押すたびに音声の番号、種類、音声言語が画面に表示され、音声を切り換えることができます。

※この選択は複数の音声データが入っているDVDを再生する場合のみ有効です。

※音声の種類および数はソフトにより異なります。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

オーディオCD

を押す

ボタンを押すたびに他の音声設定が画面に表示され、音声を切り換えることができます。



字幕切換 (DVD)

●複数の言語による字幕を記録したDVDを再生する場合、字幕言語の選択ができます。

再生中に を押す

ボタンを押すたびに字幕の番号、字幕言語が画面表示され、字幕を切り換えることができます。

※この選択は複数の字幕データが入っているDVDを再生する場合のみ有効です。

※字幕の種類および数はソフトにより異なります。

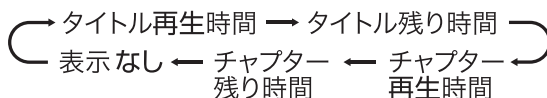
※ディスクによってはこの機能は使えません。

画面表示

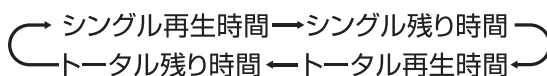
を押す

ボタンを押すたびに画面表示が切り換わります。さらに押すと画面表示が消えます。

DVD



オーディオCD



数字ボタンによる再生(再生中)

数字入力 1～9まで: ① ～ ⑨
 10の場合: ① + ⑩
 35の場合: ③ + ⑤

※チャプターがひとつしかないタイトルを再生しているときはこの機能は使えません。

DVD再生中に数字ボタン ① ～ ⑩ を押す

※無効な数字は入力できません。

チャプター番号4を入力したとき

タイトル: 18/18 チャプター: 04/17

指定したシーンから再生がはじまります。
 ※ディスクによってはこの機能は使えません。

数字ボタンによる再生(停止中)

※「仮停止」状態では入力できません。

DVD停止中に数字ボタン ① ～ ⑩ を押す

タイトル入力画面が表示されます。

タイトル番号入力

タイトル: ■

再生中の数字ボタンによる再生

1. 数字ボタン ① ～ ⑩ で視聴したいタイトル番号を入力

※無効な数字は入力できません。

チャプター入力画面が表示されます。

タイトル番号5を入力したとき

チャプター番号入力

タイトル: 05/18 チャプター: ■ /36

2. 視聴したいチャプター番号を入力

※しばらく操作をしないとチャプター1から再生がはじまります。

指定したシーンから再生がはじまります。
 ※ディスクによってはこの機能は使えません。

数字ボタンによる再生(オーディオCD)

数字ボタン ① ～ ⑩ を押す

トラック入力画面が表示されます。

トラック(曲)番号5を入力したとき

トラック: 05/18
00:01

指定した楽曲から再生がはじまります。
 ※ディスクによってはこの機能は使えません。

プログラム再生 (DVD/オーディオCD)

プログラム設定した順序で再生します。

1. プログラム番組表を押す

プログラム設定画面が表示されます。

01	TT:	CH:	06	TT:	CH:
02	TT:	CH:	07	TT:	CH:
03	TT:	CH:	08	TT:	CH:
04	TT:	CH:	09	TT:	CH:
05	TT:	CH:	10	TT:	CH:
終了			次のページへ		

●タイトルが一つしかないDVDまたはオーディオCDでは図のような設定画面になり、チャプター番号またはトラック番号のみを入力します。

01	---	06	---
02	---	07	---
03	---	08	---
04	---	09	---
05	---	10	---
終了		次のページへ	

2. 数字ボタン①～⑩でタイトル番号を入力

カーソルがチャプター番号入力欄に移動します。
※無効な数字は入力されません。

3. 数字ボタン①～⑩でチャプター番号を入力

カーソルが次のプログラム番号に移動します。

※チャプター(CH:)がない場合は、
数字ボタン「1」を押し次へお進みください。

タイトル チャプター

01	TT:03	CH:18	06	TT:	CH:
02	TT:	CH:	07	TT:	CH:
03	TT:	CH:	08	TT:	CH:
04	TT:	CH:	09	TT:	CH:
05	TT:	CH:	10	TT:	CH:
終了			スタート		
			次のページへ		

4. 2.～3.を繰り返し、プログラム設定する

5. 10番目の入力が完了したら で“次のページ”にカーソルを合わせ を押す

●プログラムできる数は20です。

●～のプログラム設定画面に戻るときは、

    で“前のページへ”にカーソルを合わせ  を押す。

14	TT:04	CH:03	19	TT:07	CH:02
15	TT:08	CH:02	20	TT:04	CH:06
前のページへ			終了 スタート		

●入力したプログラムを訂正するときは、 

  で入力したプログラムにカーソルを合わせ、再度プログラム入力し   

 で他のプログラムにカーソルを移します。

※再生開始後のプログラムの訂正はできません。

●プログラム設定をし直すときは、 を押すか、

    で“終了”にカーソルを合

わせ、 を押し再度設定し直します。

14	TT:04	CH:03	19	TT:07	CH:02
15	TT:08	CH:02	20	TT:04	CH:06
前のページへ			終了 スタート		

●プログラム設定画面を閉じるときは  を

押すか     で“終了”にカーソルを合わせ  を押します。

14	TT:04	CH:03	19	TT:07	CH:02
15	TT:08	CH:02	20	TT:04	CH:06
前のページへ			終了 スタート		

6. 入力が完了したら で“スタート”にカーソルを合わせ を押す

プログラム再生を開始します。

●プログラム再生中、プログラム設定を全て削除するときは  を押し、プログラム設定画面に戻し     で“停止”にカーソルを合わせ  を押します。

04	TT:02	CH:11	09	TT:03	CH:01
05	TT:05	CH:02	10	TT:04	CH:02
終了			停止 次のページへ		

※プログラム再生が終了するとプログラム設定は消去されます。

※電源を切る、停止ボタンを2回押す、ディスクを取り出した場合などはプログラムが解除されます。

※DVDプログラム再生中画面に「プログラム」と表示されます。

DVD 設定

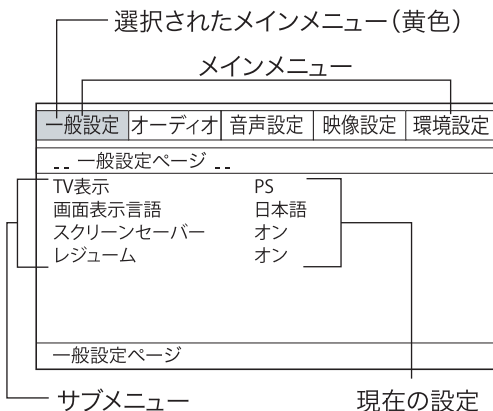
- DVD設定では、本製品にさまざまな設定をおこなうことができます。
- 一度設定をおこなうと、電源を切っても内蔵のメモリに保存されます。必要に応じて設定をおこなってください。

設定方法

1. 停止状態のとき を押す

※DVD 再生中のときは  を2回押して停止させます。

設定画面が表示されます。



2. でメインメニューを選択し

 または  を押す

一般設定	オーディオ	音声設定	映像設定	環境設定
.. 環境設定ページ ..				
音声言語	日本語			
字幕言語	日本語			
ディスクメニュー	日本語	英語	日本語	
視聴制限	日本語			
パスワード変更				
初期設定				
環境設定ページ				

現在の設定 (赤色)

3. でサブメニューを選択し を押す

設定メニューにカーソルが移動します。

-  を押して設定メニューにカーソルを移動することもできます。

4. で設定を選択する

選択したサブメニュー
(緑色のカーソル)

一般設定	オーディオ	音声設定	映像設定	環境設定
.. 環境設定ページ ..				
音声言語	日本語			
字幕言語	日本語			
ディスクメニュー	日本語	英語	—	
視聴制限	日本語			
パスワード変更				
初期設定				
環境設定ページ				

現在の設定 (赤色のカーソル)

新しい設定 (緑色のカーソル)

5. を押す

※ 設定メニューによっては設定の方法が異なります。

それぞれの操作方法に従ってください。

- 他にも設定するときは3.以下の操作を繰り返します。

- 他のメインメニューを設定するときは  を押し、何もサブメニューが選択されていない状態に戻し、2.以下の操作をします。

6. DVD設定を終了するときは を押す

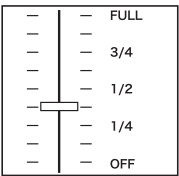
一般設定

設定メニュー	説明
TV表示	接続するテレビ画面の種類を設定します。 4:3/PS 横縦比4:3パンスキャン画面に設定されます。ワイド画像は映像の左右部分がカットされ見えません。 4:3/LB 横縦比4:3レターボックス画面に設定されます。ワイド画像はすべて映りますが上下が黒い画面になります。 16:9 横縦比16:9のワイド画面に設定されます。
画面表示言語	画面に表示される言語を設定します。 英語または日本語から選択します。
スクリーンセーバー	オンにするとモニターの画面焼けを防ぐため、停止状態のまま約4分経過するとスクリーンセーバーを表示します。
レジューム	オンにすると、再生途中で停止または電源を切った場合、次の再生時にその場面から再開します。

オーディオ

設定メニュー	説明
ダウンミックス	5.1チャンネル等マルチチャンネルで記録されたディスクの音声信号をフロント2チャンネルに変換させて再生します。 LT/RT : ダウンミックスモード ステレオ : 通常のステレオ

音声設定

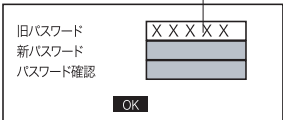
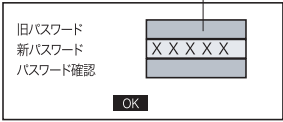
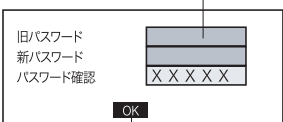
設定メニュー	説明
ステレオ	ステレオのチャンネル数を設定します。 ステレオ : 通常のステレオ 左モノラル : 左側の音のみ両側のスピーカーから出る 右モノラル : 右側の音のみ両側のスピーカーから出る ミックスモノラル : 左右ミックスのモノラル
ダイナミック	ドルビーデジタルのディスク再生時の、音量幅を設定します。   で調節して  を押します。 

映像設定 — 画質

設定メニュー	説明
シャープネス	画質の鮮明さを設定します。 高、中、低から選択します。
明るさ	画面の明るさを設定します。   で調節して  を押します。 設定範囲は-16～+16です。
コントラスト	画面のコントラストを設定します。   で調節して  を押します。 設定範囲は-16～+16です。

環境設定

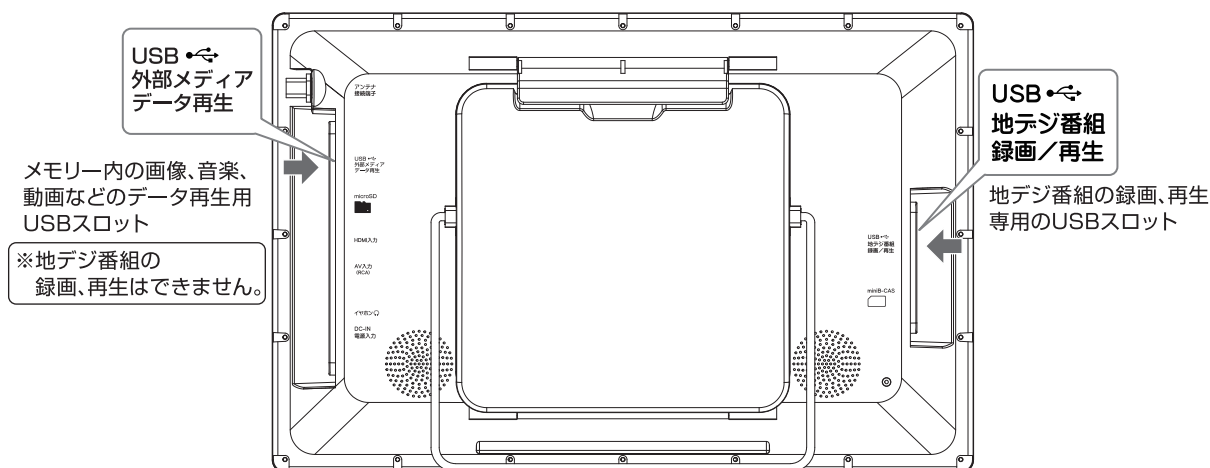
設定メニュー	説明
音声言語	DVD再生時の音声言語を設定します。 英語、日本語から選択します。 ※ディスクのメニューで設定してください。 ディスクメニューで設定した言語が優先されます。
字幕言語	DVD再生時の字幕言語を設定します。 英語、日本語から選択します。 ※ディスクのメニューで設定してください。 ディスクメニューで設定した言語が優先されます。
ディスクメニュー	DVD再生時の字幕言語を設定します。 英語、日本語から選択します。 ※ディスクのメニューで設定してください。 ディスクメニューで設定した言語が優先されます。
ペアレンタル	青少年にとって好ましくない内容のコンテンツの視聴を制限します。 ただし、この機能を備えたDVDのみ有効です。 ・1 KIDSAFE : 子供に安心して見せられる ・2 G : 保護者の指導なしで見せられる、一般向け映画 ・3 PG : 保護者の助言・指導が必要 ・4 PG13 : 13歳以下は保護者の助言・指導が必要 ・5 PGR : 15歳以下は保護者の助言・指導が必要 ・6 R : 17歳以下は保護者の助言・指導が必要 ・7 NC17 : 17歳未満は視聴禁止 ・8 ADULT : 成人向けの内容 1.   で設定を選択し  を押す パスワード入力画面が表示されます。 2. 数字ボタン  ~  でパスワードを入力 初期設定のパスワードは“888888”です。 黒色になり設定完了 パスワード X X X  パスワード XXXXXXXXXX  パスワード入力(黄色) ※最後のパスワードは入力されません。 3.  を押して設定ページに戻る

設定メニュー	説明
パスワード変更 (選択すると、 「パスワード設定ページ」 に入ります)	●パスワードモード 「ペアレンタル」を設定する際に、パスワードの入力が必要かどうかを選択できます。 設定の際に、パスワードの入力が必要です。 オン:パスワード入力が必要 オフ:パスワード入力が必要 ●パスワード変更 パスワードの設定・変更をおこないます。 (パスワードは、「パスワードモード」がオンのときに、「ペアレンタル」を設定する際に必要となります) 1. 数字ボタン 1 ～ 0 で旧パスワードを入力 初期設定のパスワードは“888888”です。 パスワード入力欄(黄色)  2. 次に新パスワードを入力 パスワード入力欄(緑色)  3. さらに再確認のために 新パスワードを再入力 パスワード入力欄(緑色)  OKを押して設定完了 4. 決定 LIST を押して設定ページに戻る
初期設定	リセット：各設定を工場出荷時に戻します。

USB スロットについて

左右にUSBスロットがあります。それぞれ機能が異なりますのでご注意ください。

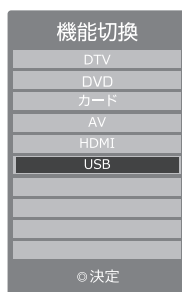
端子ふたを外して接続します。



USB メモリーについて

USBメモリーの接続

1. USBメモリーを接続する
本製品側面のUSBスロットに挿入します。
(本機・背面の右側：外部メディアデータ再生)
2. 電源をオンにする
3. **機能切換** で “USB” を選択して
決定ボタンを押す



⚠ 注意

本製品でUSBメモリーを使うとき、以下の注意事項を必ずお守りください。データの損失、USBメモリーの破損については保証いたしかねます。

※USBメモリーの読み込み中、再生中または動作終了直後に、USBメモリーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。データが破損することがあります。

※本製品で再生できるUSBメモリーは最大32GBです。

※対応フォーマットはFAT32、NTFSです。

※記録状態によっては再生できない場合があります。

USBメモリーの取り出し

電源を切り、USBメモリーを取り外します。

※USBメモリーの読み込み中、再生中または動作終了直後に、USBメモリーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。データが破損することがあります。

USBモードの本体ボタン操作



5 CH- …… 選択カーソル 1 列下へ

6 CH+ …… 選択カーソル 1 列上へ

7 決定 …… 決定

8 音量- …… 選択カーソル右へ ※

9 音量+ …… 選択カーソル左へ ※

※ 長押しで音量を調節します。

USB 接続の再生

本機には静止画や動画などを再生するソフトを搭載しています。

外部メディアデータ再生用スロット側に USB メモリー や HDD を接続し、入力モードを切り換えると搭載ソフトが起動してメディア内に保存されているデータの再生などが行えます。

- 再生可能なファイル形式：
- * 静止画（拡張子）：JPEG(.jpg)/BMP(.bmp)
 - * 動画（拡張子）：MP4(.mp4)/WMV(.wmv)/AVI(.avi)/3GP(.3gp)
 - * 音楽（拡張子）：MP3(.mp3)/WMA(.wma)/WAV(.wav)/AAC(.m4a/.aac など)
 - * テキスト（拡張子）：テキストファイル (.txt)



注意

※上記ファイル形式でも高画質（高解像度）データや圧縮率・コーデックの不一致などで映像が出ない／音が出ない／読み込みできないなどが起こる場合があります。**注：全てのファイル再生の保証はしておりません。**
 ※記録された順序で再生されない場合があります。また記録状況により音飛びや読み込まない場合があります。



注意

■本機と接続して使用される外部メディアのファイルシステム形式にご注意ください。
 ※本機で使用可能な外部メディア（USB メモリーや HDD など）は＜FAT32 形式＞または＜NTFS 形式＞でフォーマットされたメディアのみ使用できます。（FAT16 形式や exFAT 形式のメディアは使用できません）



注意

※外部メディア（USB メモリーや HDD など）はメーカーや型式などによっては認識されない場合があります。この場合、他メーカーや型式の外部メディアで読み込み可能をお試しください。

※外部メディアについての動作保証やサポートは行っておりません。予めご了承ください。

メディア内のデータを再生する／削除する

- ① 本機の＜外部メディアデータ再生＞スロットにデータが保存されたメディアを接続します。
- ② リモコン「機能切換」でモードを【USB】に切り換えます。
または「DVD/USB/サーチ」で【USB】に切り換えます。
- ③ USB モードに画面を切り換えた後、
「◀」「▶」で再生したい項目に移動して「決定」を押します。

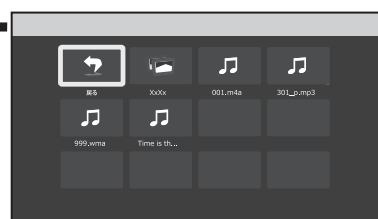
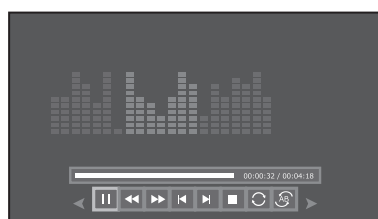
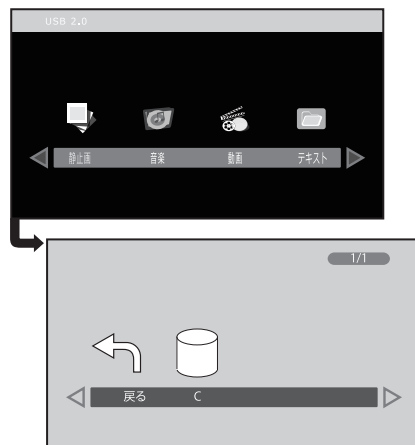
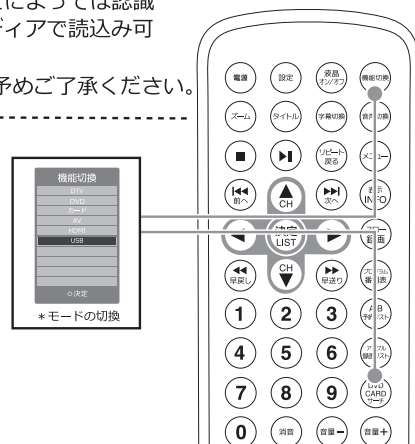
* 選択項目：静止画ファイル再生 / 音楽ファイル再生
 / 動画ファイル再生 / テキストファイル表示

- ④ 再生する項目を選択後「決定」を押すとデバイス項目に移動します。（* 選択項目：一つ前へ / [C]）
[C] を選択して「決定」を押すと読み込み可能なデータ（またはフォルダ）が表示されます。

- ⑤ 再生したいデータにカーソルを移動するとプレビュー画面でデータが再生されます。「決定」を押すと画面が切り換わり、本再生がスタートします。

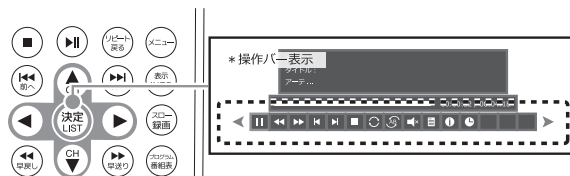
* 再生を停止する場合は「停止 (■)」

* 一つ前に戻る場合は「戻る」



データ再生時の操作 <操作バー>

データ再生中にリモコンの「決定」を押すと、画面に<操作バー>が表示されます。<操作バー>からデータの再生や一時停止などの操作が行えます。



<静止画ファイル再生>



- ▶(II) 再生／一時停止 (=【タイムシフト】ボタン)
- ▶ 前のデータへ移動 (=【前へ】)
- ▶ 次のデータへ移動 (=【次へ】)
- 再生停止 (=【停止】)
- リピート再生設定 (=【リピート】) ※<None>: 無 → <1>: 1 ファイルリピート → <ALL>: 全ファイルリピート ↗
- ♪ 音楽設定 ※メモリー内に音楽ファイルがある場合、背景音乐の有無を選択
- 📄 プレイリスト: 静止画 (画像) ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- ℹ インフォメーション: 再生中データの情報表示
- ↺ 90 度右回転: 画像を 90 度右へ回転
- ↻ 90 度左回転: 画像を 90 度左へ回転
- 🔍 拡大ズーム: 最大 8 倍拡大表示
- 🔍 縮小ズーム: 最小 1/4 倍縮小表示
- ✦ ※Move View (※本機では使いません)

* 操作バー表示後に操作をしない場合、数秒すると操作バーは消えます。

<音楽ファイル再生>



- ▶(II) 再生／一時停止 (=【タイムシフト】ボタン)
- ◀◀ 早戻し (=【早戻し】) ※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32 ↗
- ▶▶ 早送り (=【早送り】) ※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32 ↗
- ▶ 前のデータへ移動 (=【前へ】)
- 再生停止 (=【停止】)
- リピート再生設定 (=【リピート】) ※<None>: 無 → <1>: 1 ファイルリピート → <ALL>: 全ファイルリピート ↗
- ⌂ A to B リピート: セット地点 A から地点 B までの間をリピート再生させる設定機能
- ※セットなし → 【決定】: A 地点セット → 【決定】: B 地点セット & リピート設定 → セットなし ↗
- 🔇 消音ミュート設定 (=【消音】)
- 📄 プレイリスト: 音楽ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- ℹ インフォメーション: 再生中データの情報表示
- 🕒 検索時間入力設定: データの再生スタート時間を設定

<動画ファイル再生>



- ▶(II) 再生／一時停止 (=【タイムシフト】ボタン)
- ◀◀ 早戻し (=【早戻し】) ※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32 ↗
- ▶▶ 早送り (=【早送り】) ※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32 ↗
- ▶ 前のデータへ移動 (=【前へ】)
- 再生停止 (=【停止】)
- リピート再生設定 (=【リピート】) ※<None>: 無 → <1>: 1 ファイルリピート → <ALL>: 全ファイルリピート ↗
- ⌂ A to B リピート: セット地点 A から地点 B までの間をリピート再生させる設定機能
- ※セットなし → 【決定】: A 地点セット → 【決定】: B 地点セット & リピート設定 → セットなし ↗
- 📄 プレイリスト: 動画ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- ℹ インフォメーション: 再生中データの情報表示
- 🔍 スロー再生: 【決定】を押すごとにスロー再生 & 倍速切換え ※再生 / x2 / x4 / x8 / x16 ↗
- 🔍 ステップ再生: 【決定】を押すごとにコマ送り再生
- 🕒 検索時間入力設定: データの再生スタート時間を設定
- 📐 画面表示サイズ切換え: 【決定】を押すごとに表示サイズ変更 ※自動 / 16:9 / 4:3 ↗

* 操作バー表示後に操作をしない場合、数秒すると操作バーは消えます。

<テキストファイル再生>

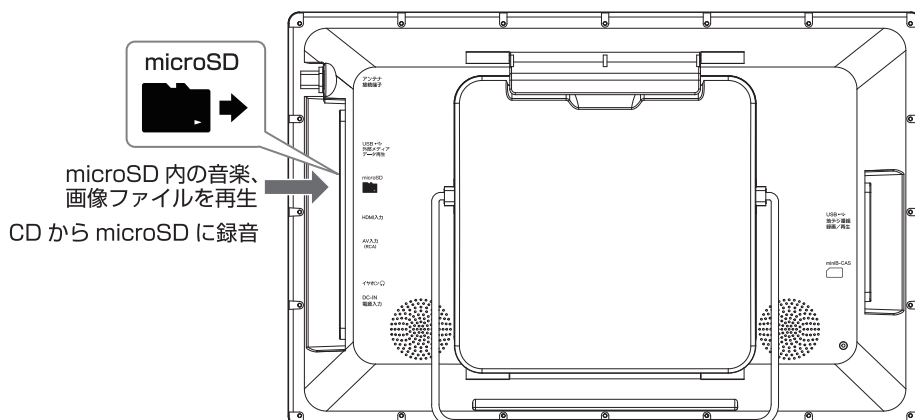


- ◀◀ 前のページへ移動 (=【早戻し】)
- ▶▶ 次のページへ移動 (=【早送り】)
- ▶ 前のデータへ移動 (=【前へ】)
- ▶ 次のデータへ移動 (=【次へ】)
- 再生停止 (=【停止】)
- ♪ 音楽設定 ※メモリー内に音楽ファイルがある場合、背景音乐の有無を選択
- 📄 プレイリスト: テキストファイルとして認識したファイルをリスト表示
- ℹ インフォメーション: 再生中データの情報表示

* 操作バー表示後に操作をしない場合、数秒すると操作バーは消えます。

microSD カードスロットについて

端子ふたを外して装着します。



- ・ microSD をスロットに挿入の際はカードの向きにご確認ください。
- ・ 奥まで差し込むと、「カチッ」とロックがかかります。

microSD カードについて

microSD カードの装着

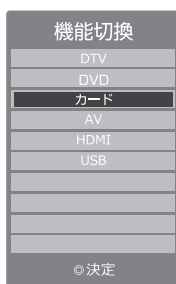
注意：DVD や CD がセットされていないことを確認してから以下の操作をしてください。

1. microSD カードを装着する

本機・背面右側の microSD カードスロットに挿入します。

2. 電源をオンにする

3. 機能切替で“カード”を選択して決定ボタンを押す



4. 表示画面に「読込中」→「ディスクなし」が表示されます。次にリモコンの「決定」ボタンを押すと microSD の読み込みが始まりメニュー画面が表示されます。

microSD カードの取り出し

電源をオフにして、microSD を押し込むと、ロックが解除されて取り出すことができます。

⚠ 注意

本機で microSD をご利用の際は、以下の注意事項を必ずお守りください。
データの損失、microSD の破損については保証できません。

※読み込み中、再生中、または再生終了直後は、microSD を取り出したり、電源をオフにしないでください。データが破損することがあります。

※本機で再生できる microSD は、最大 32GB です。

※対応フォーマットは FAT32、NTFS です。

※記録状態によっては再生できない場合があります。

カードモードの本体ボタン操作



5 CH- …… 選択カーソル下へ

6 CH+ …… 選択カーソル上へ

7 決定 …… 決定(再生)、一時停止

8 音量- …… 早戻し(2×, 4×, 8×, 16×, 32×)※

9 音量+ …… 早送り(2×, 4×, 8×, 16×, 32×)※

※長押しで音量を調節します。

microSD カードの再生

再生できるファイル形式

本機では、microSD カードに記録された MP3、JPEG ファイルを再生できます。

対応ビットレート

MP3:48~320kbps

※MP3、JPEGファイルであっても、作成方法や作成した機器によっては本製品で再生できない場合があります。

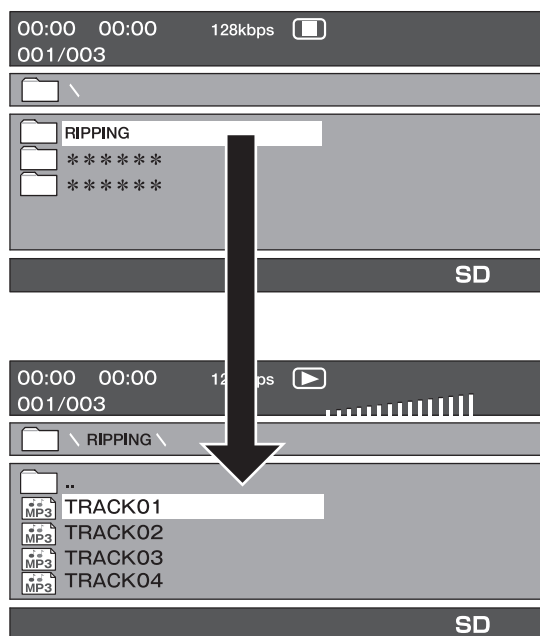
基本操作

1. microSD カードを装着する
2. 電源をオンにする
3.  で“カード”を選択する
●フォルダー/ファイルが表示されます。

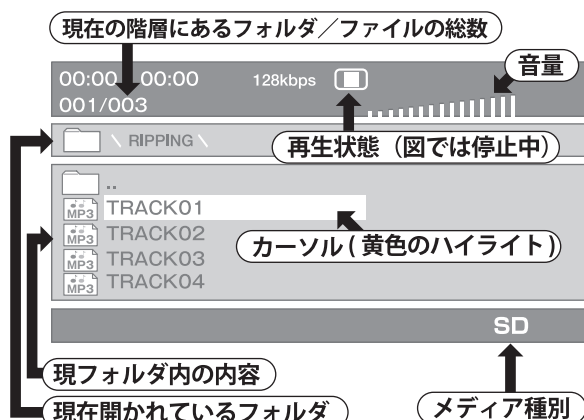
お知らせ

※本製品では表示できない文字や内容があります。

4.     で再生したい項目を選択



フォルダリストの表示例

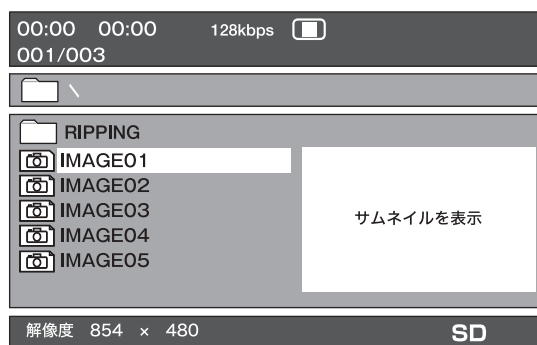


JPEGファイルについて

画像ファイルを表示する

表示したい画像ファイルにカーソルを合わせると右側にサムネイルが表示されます。

 ボタンを押すとスライドショーがはじまります。



 を押すと設定を選択できます。

上から下へページが変わります
下から上へページが変わります
左から右へページが変わります
右から左へページが変わります
左上からページが変わります
右上からページが変わります
左下からページが変わります
右下からページが変わります

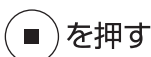
中心から上下にページが変わります
中心から左右にページが変わります
上下から中心にページが変わります
左右から中心へページが変わります
すだれ状に上下にページが変わります
すだれ状に左右にページが変わります
周辺から中心へページが変わります
写真が重なる様にページが変わります

    を押すと画像の向きが変わります。

DVDと同様の操作

- 一時停止 26ページ参照
- 次へ/前へ 26ページ参照
- 早送り/早戻し 26ページ参照 (MP3のみ)

停止(MP3のとき)



を押す

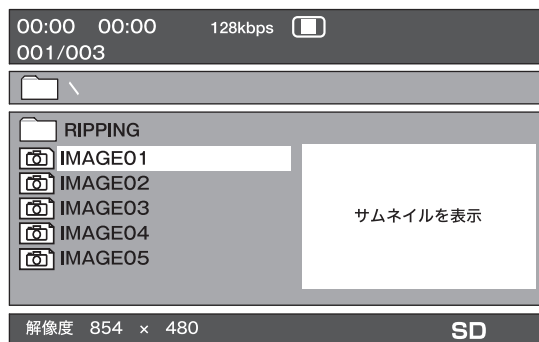
再生を停止します。

停止(JPEGのとき)



を押す

再生中に押すと停止し、フォルダー/ファイルが表示されます。

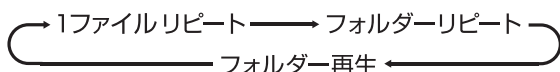


リピート再生



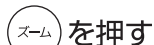
を押す

ボタンを押すたびに下記のような種類のリピートモードに切り換わります。



- 1ファイルリピート:
選択したファイルがリピート再生されます。
- フォルダールリピート:
選択したフォルダーがリピート再生されます。

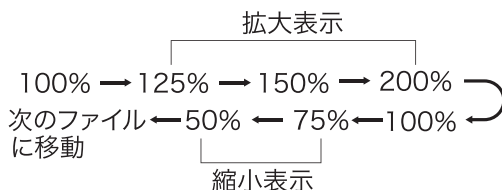
ズーム



を押す

ボタンを押すたびに倍率が下記の順序で切り換わります。

画面には倍率が表示されます。



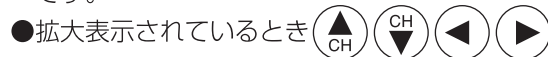
※ズーム表示中はズーム表示は消えません。

- ズーム表示中は一時停止の状態になります。



を押すとスライドショーが再開されます。

※表示される倍率は実際の倍率とは異なる目安です。



ボタンを押して画像を移動することができます。

数字ボタンによる再生

数字ボタン ① ~ ⑩ で聴きたいファイル番号を入力する(29ページ参照)

ファイル入力画面が表示されます。



数字入力(緑のカーソル)

MP3、JPEG停止中

数字入力



JPEG再生/一時停止中

- フォルダーも1つのファイルとして認識されます。

指定したファイルから再生がはじまります

CD を録音する

本製品は音楽 CD の音源を microSD に録音することができます。



著作権について:注意事項

CDなどの音楽作品は、著作権法により保護されています。したがってそれらを録音したものを販売、配布また譲ったり貸し出したりする場合や営利目的のために使用する場合は、権利者の承諾が必要です。詳しい内容や申請、手続きについては『(社)日本音楽著作権協会 (JASRAC)』までお問い合わせください。

microSD に録音する

1. メディアをセットする

microSD を装着してください。

音楽CDをセットして再生してください。

2. 録音オプションを設定する

読み込み後、リモコンの  を押すと録音設定画面が表示されます。

○録音設定画面

CD 録音			
オプション		トラック	
①	速度 標準	track01	05:00
②	ビットレート 128Kbps	track02	05:00
③	ID3情報 する	track03	05:00
④	メディア SD	track04	05:00
録音情報		track05	05:00
⑥	トラック 0	track06	05:00
	タイム 00:00	track07	05:00
		▼	
開始		すべて選択	すべて取消
⑨	⑩	⑦	⑧

(1) リモコンの ▲・▼・◀・▶ ボタンでカーソルを移動し、『決定』ボタンを押して速度、ビットレート、メディアの設定を選択します。

①速度…

カーソルで選び『決定』ボタンを押すごとに録音スピードを切り換えられます。

『通常(標準)』～『高速(倍速)』

通常録音スピード状態では、ファイルを録音と同時に再生します。

高速録音スピード状態では、消音で録音します。

③ID3 情報…

設定メニューはありますが、本機でこの機能はご利用いただけません。

⑤トラックリスト…コピー元に収録されているトラックのリストです。

⑦すべて選択…収録されているすべてのトラックを選択します。

②ビットレート…

カーソルで選び『決定』ボタンを押すごとにビットレート(圧縮率)を切り換えられます。

96Kbps～112Kbps～128Kbps～

192Kbps～256Kbps～320Kbps

この数値が大きいほど、音質はよくなりますが変換後のファイルサイズは大きくなります。

④メディア…

「SD」と「なし」が切り換わります。

⑥録音情報／トラック・タイム…

選択されたファイル総数、総再生時間

⑧すべて取消…選択されているトラックをすべて解除します。

CD を録音する

- (2) リモコンの     ボタンでカーソルを移動し、 ボタンを押して選択／非選択します。
 選択中の曲の左側に✓のマークが表示されます。

○トラック選択画面

CD 録音			
オプション		トラック	
速度	標準	✓ track01	05:00
ビットレート	128Kbps	✓ track02	05:00
ID3情報	する	track03	05:00
メディア	SD	track04	05:00
録音情報		track05	05:00
		track06	05:00
		track07	05:00
		▼	
トラック	2		
タイム	10 : 00		
開始	戻る	すべて選択	すべて取消

3. 録音する

選択が完了したら、カーソルで開始を選び『決定』ボタンで録音を開始します。
 録音中は録音状況が表示されます。録音中に『キャンセル』上にカーソルがあることを確認し、『決定』ボタンを押すと録音が中止されます。
 録音完了後はカーソルで終了を選び『決定』ボタンを押します。

○録音中の画面

CD 録音	
録音中	トラック
トラック	✓ track01 30%
トータル	✓ track02 05:00
キャンセル	
録音情報	
録音中 トラック	01 / 02

※録音中は音量の操作ができません
 ※microSDに空き容量がないと「Device FULL」と表示され、記録できません。
 ※録音がキャンセルされて、途中までのファイルは保存されます。
 ※本機ではフォルダ名、ファイル名は入力できません。
 ※録音中、本機に振動を与えたり、デバイスを抜くとエラーが表示されます。
 その場合は、一度電源をオフにして、再度電源をオンにしてください。
 ※録音されたファイルは全ての再生を保証するものではありません。

録音された音楽ファイルはMP3で記録され『RIPPING』というフォルダに保存されます。

外部機器と接続する

接続のしかた

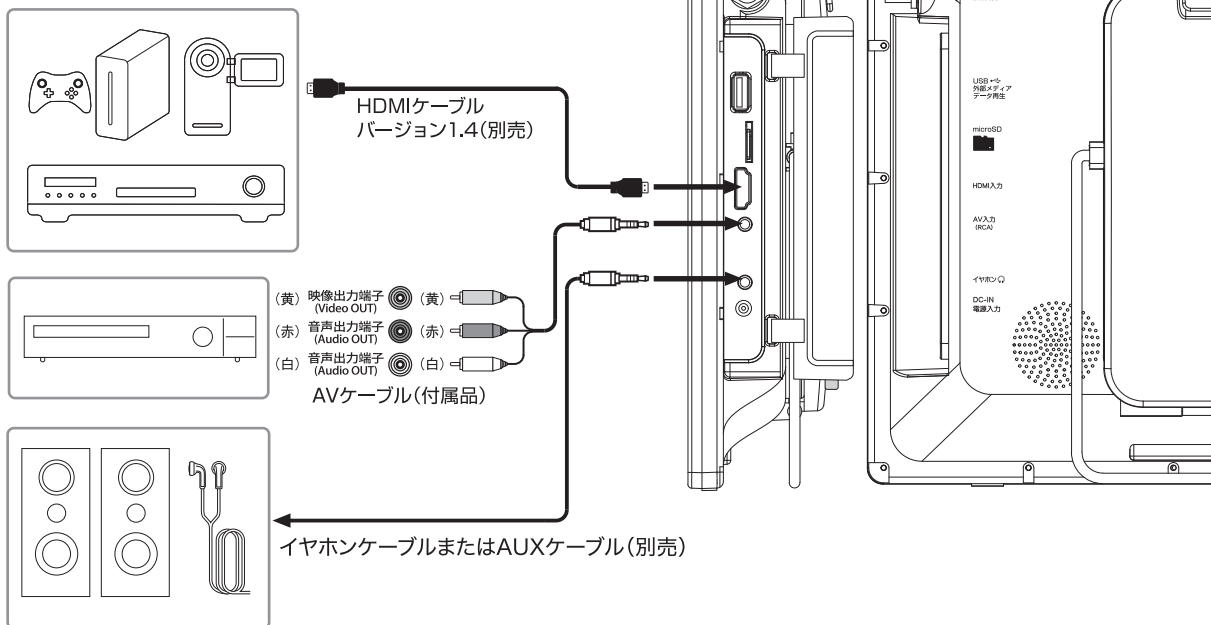
●本機では外部機器で再生する映像・音声を視聴することができます。

※他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

端子ふたを外して接続します。

HDMI接続の場合

HDMI端子を装備したDVDプレーヤーなどと接続ができます。HDMIケーブル(別売)を接続するだけで、デジタル信号のまま映像と音声を入力できます。



●本機で再生できる DVD/CD/USB/microSD データを外部機器(モニターなど)に出力することができます。

機能切換

機能を切り換えて、外部機器の内容を視聴します。

本体：機能切換ボタンを押す→「HDMI」または「AV」を選択
→外部入力視聴モード

リモコン：機能切換ボタンを押す→「HDMI」または「AV」を選択
→外部入力視聴モード



注意

※外部機器の設定については、お使いの外部機器の取扱説明書をご参照ください。

※水回りでは使用しないでください。

※接続先の機器によっては映像が正しく表示されない場合があります。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。本機において、ゲーム機などからの映像信号、バージョンなどによって映像が映らない場合があります。あらかじめご了承ください。

こんなとき		ここをお調べください
電源	電源が入らない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ・内部処理を行っているために操作への反応が遅い場合があります。 ⇒約1分ほどお待ちになってから再度電源を入れてください。
	急に電源が切れた	・バッテリーは充電されていますか？ ⇒バッテリーを充電してください。
リモコン	リモコンで操作できない	・リモコンの乾電池が消耗していませんか？ ・乾電池のプラス／マイナスが逆になっていませんか？ ・テレビのリモコン受光部に正しく向けて操作していますか？ ・テレビのリモコン受光部に強い照明や直射日光が当たっていませんか？ ・リモコンとテレビの間に遮蔽物はありませんか？ある場合は取り除いてください。
	チャンネル▲▼ボタンで特定のチャンネルだけ選局できない	・編成チャンネルを視聴している可能性があります。 数回ボタンを押してください。同じ番組が放送されている場合があります。
テレビを見ているとき	映像も音声も出ない	・アンテナ線が外れていませんか？ ・接続されていない入力先などに切り換えられていませんか？ ・外部機器の接続ケーブルが外れていませんか？ ・P.36「初期設定」を実行してください。
	映像は出るが、音声がでない	・消音状態になっていませんか？ 音量が0になっていませんか？ ・ヘッドホン端子にヘッドホンなどが接続されていませんか？ ・HDMIケーブルなどを映像入力に使用しているときには、音声ケーブルを別に接続しなければならない場合があります。
	ビデオを見ているときに、片側のスピーカーから音声がでない	・音声に関係する入力端子の接続ケーブルが外れていませんか？ ・音声端子がしっかりと挿入されているか確認してください。
	音声に異音が入ったり映像にノイズが出る	・本製品の近くで携帯電話などの無線機器を使用していませんか？ ⇒携帯電話などを離してお使いください。 ・アンテナの向きがずれていませんか？ ・受信電波信号が弱い状態ではありませんか？（受信レベルを確認）
	映像が悪い	・アンテナ接続コネクターが外れていませんか？ ・アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか？ ・アンテナが風で壊れたり、曲がったり、向きがずれたりしていませんか？ ・近くで落雷や電波障害などが起きていませんか？ ・1本のアンテナ線を複数のテレビやレコーダーに接続していませんか？ ・近くで電磁波を出す家電製品を使用していませんか？ ・映像を正しく調整されていますか？ ・チャンネルは正しく設定されていますか？ ・受信電波信号が弱い状態ではありませんか？

こんなとき		ここをお調べください
テレビを見ているとき	映像が悪い	・編成チャンネルを視聴している場合があります。 チャンネルボタンを数回押す、または他チャンネルへ切り換えてください。 ・地域設定を正しく設定していますか？ お住まいの地域によっては、該当する地域よりも近隣の地域へ変更することで視聴できる場合がありますのでお試しください。 ・チャンネルが変更されていませんか？ 製品出荷時以降にチャンネルが変更されている（放送局や中継局が増設される等）場合には、チャンネルの再設定が必要な場合があります。
	色縞模様が出ない 色が消えない 縦線状の妨害が見えない	・アンテナやアンテナ端子への妨害電波の影響が考えられます。 ⇒地上波放送のアンテナ線の接続には、同軸ケーブル（市販品）をお使いください。 ⇒アンテナの高さや向きを調整すれば、妨害電波をある程度少なくできます。 ・外部機器からの入力映像を見ている場合は、接続や設置場所を確認してください。
	色がうすい 色合いが悪い	・地上アナログ放送時に放送されていた番組などの再放送を視聴する場合には、画像が著しく悪く見えることがあります。製品に問題はありません。 ・映像設定は正しく調整されていますか？ ・チャンネルは正しく設定されていますか？ ・各映像端子の接続は確実ですか？
	画面が暗い	・映像モードが変更されていませんか？ ・映像の調整は正しいですか？ ・映画を視聴する時には暗い画面が見えにくくなることがあります。
	デジタル放送が映らない	・miniB-CASカードは正しく挿入されていますか？ ⇒miniB-CASカードを正しく挿入しないと、地上デジタル放送は視聴できません。 ・miniB-CASカードのIC部分が接触不良（埃、塵、結露、サビ）の場合には何度か挿入し直すと視聴できる場合があります。カードが折れたり、曲げたり、欠けたりすると使用できなくなります。丁寧に扱ってください。 ・デジタル設定内のminiB-CAS情報にエラーが表示された場合は、P13に記載してある憐ビーエスコンディショナルアクセスシステムズへ問い合わせください。
	地上デジタル放送が受信できない	・お住まいの地域は、地上デジタル放送の対象エリアですか？ ・UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信施設に向けていますか？ ・地上デジタル放送の有効な放送局/中継局がアナログ放送時から変更されている場合があります。 ・お住まいの地域の放送局/中継局を確認してください。 ・チャンネルが変更がされた可能性があります。 ・再度「地デジ自動設定」（チャンネルスキャン）を行ってください。 ・地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか？

故障かな？と思ったら

こんなとき		ここをお調べください
DVD を見ているとき	画面が映らない	・テレビの入力切替は、「DVD」になっていますか？ ・電波を発生する機器の近くで使用していませんか？
	映像は出るが、音が出ない	・消音状態、または音量が0になっていませんか？ ・ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか？ ・ディスクに変形や破損、傷や汚れがありませんか？
	再生ができない	・ディスクが正しくセットされていますか？ ・ディスクに変形や破損、傷や汚れがありませんか？ ・再生可能なディスクですか？ ・本機の内部が結露していませんか？ ⇒ディスクを取り出し、本機を1時間以上放置して乾燥させてください。
	音声や映像が乱れる	・ディスクに汚れ、キズがある。 ⇒ディスクの汚れをふきとってください。 キズのついたディスクは使用しないでください。 ・振動の生じるところで使用している。 ⇒本機に振動が加わると、音とびをしたり、映像が乱れることがあります。 振動が止まると、通常の動作に戻ります。
	音声/字幕の切替ができない	・再生しているディスクに複数の音声、字幕が記録されていない可能性があります。
	画像が縦または横に伸びる	・テレビの画面サイズは正しく設定されていますか？
	ディスクが入っているのにディスクなしと表示がでる	・ディスクが裏返しになっていませんか？
その他	番組の録画できない 録画データの視聴ができない ... など	・本機と接続した録画用メモリーのファイルシステム形式は本機に対応した形式になっていますか？ →本機対応ディスク形式：「FAT32」 ・録画用メモリーの空き容量は足りていますか？ ・保存されたデータが壊れていませんか？ ※外部メディアについての作動保証およびサポートは行っておりません。
	外部メモリーのデータが再生できない	・本機と接続した録画用メモリーのファイルシステム形式は本機に対応した形式になっていますか？ →本機対応ディスク形式：「FAT32」 ・保存されているデータが壊れていませんか？ ・外部データのファイル形式が本機に対応した形式で保存されていますか？ →拡張子：(.jpg) など ※外部メディアについての作動保証およびサポートは行っておりません。

その他の情報

■カードエラーについて

本製品はminiB-CASカードを挿入して使用します。miniB-CASカード関連のエラーメッセージが表示されたときは、以下を確認してください。

- ・miniB-CASカードは正しく挿入されていますか？ ⇒ P.13「miniB-CASカードを入れる」をご覧ください。
- ・カードスロットにホコリがたまっていますか？
⇒市販のエアダスターなどを使用して、miniB-CASカードスロットを清掃してください。
- ・miniB-CASカードでないカードを挿入していませんか？ ⇒miniB-CASカードを挿入してください。

■EWS（緊急警報放送）について

地上デジタル放送を視聴中にEWS（緊急警報放送）を受信すると、画面に「緊急警報放送を受信しました」と表示されます。このときに決定ボタンを押すと緊急警報放送が視聴できます。このメッセージはチャンネルを変えても表示されます。緊急警報放送を視聴した後、または表示しているメッセージを消す場合は【戻る】ボタンを押してください。

EWS（緊急警報放送）とは：地震津波などの災害発生時に、放送波に特殊な信号を割り込ませることでテレビやラジオなどの受信機から警報音（ピロピロという音）を発し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせるための放送です。

人命や財産に重大な影響のある次の3つの場合に限り放送されます。

- 1) 大規模地震など災害についての警戒宣言が発せられた場合。
- 2) 津波警報が発せられた場合。
- 3) 地方自治体の長から、避難命令などの放送の要請があった場合。

本製品は地震や津波などの災害発生時に発信される緊急警報放送の文字スーパー表示に対応しています。緊急警報放送を受信することによる本製品の自動起動には対応しておりません。米軍基地周辺のAFN（米軍放送）の緊急告知放送には対応しておりません。

■ダウンロードについて

- ・本機はソフトウェアのアップデートや機能改善を行う必要がある場合には、地上デジタル放送電波からプログラムをダウンロードしてソフトウェアを書き換えます。
- ・メッセージがテレビ画面に表示されましたら、ダウンロードを実行するために電源を接続して待機状態にしてください。
- ・ダウンロードを実行するための受信レベルの目安は60%以上です。
- ・ダウンロードは、本機が電源オフ状態（待機状態）のときのみ実行されます。
- ・ソフトウェアアップデートのお知らせにある時間の前後30分は待機状態にしておいてください。
- ・ダウンロードが実施される前にはメッセージが表示されます

■液晶パネルの特徴について

- ・液晶パネルは構造上、非常に高精度な技術で作られており99.99%以上の有効画素数を実現していますが、ごくわずかに画面の一部に光らない点（画素欠け）や周囲と異なる色が点灯したままの点（輝点）が存在する場合があります。これは故障ではありませんので予めご了承ください。
- ・液晶パネルは長時間同じ画像を表示していると残像（画面焼けの様な症状）が出たり、液晶パネルの寿命を縮めてしまう可能性があります。ご使用にならないときは必ず電源をお切りください。

■本製品を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- ・本製品の譲渡または廃棄の際は、個人情報保護のためにデジタル受信設定などの個人情報の消去を行ってください。
- ・ゴミ廃棄場で処分されるゴミの中に本製品を捨てないでください。廃棄の際は地方自治体の条例または規則に従ってください。
- ・miniB-CASカードは破棄せずに（株）ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズまで返却してください。

■アナログ放送について

- ・本機はアナログ放送（地上/衛星CATV放送）については視聴できません。

■HDMI連動機能について

- ・本機とテレビ等をHDMIで接続することで一部連動動作ができることがありますが、その動作については保証致しかねます。

■取扱説明書について

- ・記載されている内容は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際の画面をご確認ください。
- ・記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。

製品仕様

品名	14 インチ防水フルセグ DVD プレーヤー	
品番	OT-WFD14TE	
防水レベル	本体：IPX7 / リモコン：IPX6	
画面表示	ディスプレイ	14 型ワイド液晶
	解像度	1366×768
DVD プレーヤー	MTK Solution + Sanyo Lens	
	DVD ビデオディスク・DVD-R/RW(CPRM/VR モード含む)	
	オーディオ CD・CD-R/RW	
動画対応ファイル	MP4・MPEG-PS・WMV・AVI・3GP	
音声対応ファイル	MP3・WMA	
画像対応ファイル	JPEG・BMP	
テキスト対応ファイル	TXT	
スピーカー	2W×2	
入力端子	DC IN 端子 × 1	
	Micro-SD 端子 (マルチメディア再生) × 1	
	HDMI 入力端子 × 1(ver.1.4)	
	AV 入力端子(RCA ピン) × 1	
出力端子	ヘッドホン端子 × 1	
テレビ	地上デジタル放送	UHF(13-62ch) フルセグ放送 / ワンセグ放送 / 自動切換
	電子番組表 EPG	8 日間
	テレビ接続端子	TV アンテナ入力端子 × 1
		ミニ B-CAS カード × 1
		Micro SD 端子 (録画 & 更新用) × 1
充電式電池	リチウムポリマー電池	7.4V, 2500mAh, 18.5Wh
	充電時間	約 3 ～ 4 時間
	DVD 再生時間	約 2.5 時間
電源	専用 AC アダプタ	AC 100V-240V, 50-60Hz
	車載用 DC アダプタ	DC 12V 2A
	消費電力	約 14W
本体サイズ	約 W351 × D234.5 × H46 mm	
本体質量	約 1.5kg	
付属品	AC アダプタ (長約 1.5m)、AV ケーブル (長約 1.2m)、車載用 DC アダプタ (長約 1.5m)、 簡易アンテナ(長約 5.0m)、車載用バッグ、取扱説明書、保証書、B-CAS カード、 リモコン(動作テスト用電池付き CR2025)、リモコン電池カバーオープナー	

※本製品は電子番組表 (EPG：約 7 日分) と字幕・文字スーパー放送に対応しております。

※本製品の保証内容は、保証書に記載されている保証規約に準じています。

※ケーブルテレビ (CATV) を使用される場合、ケーブルテレビなどの取扱説明書を併せてお読みください。

※付属のリモコン用単四形乾電池×2は動作確認用の試供品につき、早めに新しい電池と交換してください。

※この製品は日本国内専用です。

※HDMI 端子は ARC (オーディオ・リターン・チャンネル) または CEC (機器間で制御信号をやり取りするリンク機能) に対応していません。

※本製品仕様は、改良等のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

保証規定・アフターサービス・免責事項

弊社では社会情勢やその他の事情によって保証規定及び保証内容を変えさせていただいておりますので常に直近の規定、内容を適用させていただきます。予めよろしく願いたします。

- ・地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ・取扱説明書や保証書の記載を守らないことによって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ・他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能誤動作などから生じた損害（接続したテレビや外部録画メディアなどの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ・故障や修理のときに本機へ記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化、消失した場合の損害や不利益について、弊社は一切責任を負いません。

- 保証期間はご購入日より1年間です。
- 保証は本体のみです。付属品は保証対象外です。
- 液晶画面のドット抜け、飛びは交換及び返品及び修理も製品の性質上一切お受けできません。
- テレビ電波は非常に難しい電波でアンテナの向きが風などで少しずれただけでも映りません。電波環境、地域(電界強弱)、やアンテナの能力によっても視聴できない場合があります。お客様の電波環境に関して弊社ではサポートや保証は一切していません。
- マンションなど共同アンテナやケーブルテレビ等をお使いで受信しない場合は、住居やビルの管理者やご契約のひかりTVやケーブル会社にご相談ください。
- 販売(返品や交換など)に関しましては弊社では対応しておりませんので、ご購入上げ店に、お問い合わせください。
- 弊社と未取引先でのご購入の場合はご購入上げ店での対応となる場合があります。
- 修理の場合は交換パーツが変わる場合があります。
- 弊社は検品後出荷しておりますが流通過程におきまして稀に不具合が生じる場合があります。その場合、初期(ご購入日より1週間)でありましても、まず弊社にて点検・検証させていただいた後の対応となります。不具合の場合でも基本的には修理対応となりますので何卒ご了承ください。その場合大変お手数をかけますが、予めよろしく願いたします。
- 運送中の損傷や不具合発生が明らかに分かる場合(梱包材やパッケージの傷やへこみ等)は直接運送業者に弁償などの申し立てをお願いします。

次の場合は保証期間でも有償修理対応となります

- 1, 保証書のご提示が無い場合。また保証書内の不備（ご購入上げ店、日にち不明他次頁保証書欄参照ください）
- 2, 使用時に起きたキズ、色あせ、汚れ等、保管時の不備で起きた損傷
- 3, 誤った使用、不当、修理、改造、分解で生じた故障または損傷
- 4, 振動・衝撃・埃・粉塵がある所、高熱、太陽光があたる場所、高湿気油脂を使用する所や近辺、虫が多い所や発生しやすい場所等々、本機精密機器に適さない場所やその周辺での使用や保管での不具合発生。
- 5, お買上げ後の落下、故意による破損。輸送・運送等で生じた故障や損傷。
- 6, 火災、地震、落雷、天災地変、水害、塩害、その他の災害、高熱、光や異常電圧による故障損傷、変圧器や非対応電圧の機器に接続しての故障損傷、他の非対応接続機器等を使用しての故障損傷
- 7, 一般家庭用以外（業務用、連続長時間使用）での使用での故障、損傷
- 8, 車載専用ではありません。ヘッドレスト用バック装着で後部座席の人の視聴以外で生じた故障、劣化、損傷
- 9, 個人間での売買、譲渡のものに関しては保証致しかねます（オークションやメルカリ等、中古品も含む）
- 10, 新品と交換した場合や修理した場合は無償保証は原則1回限りとなります※以降の修理は有償となります
- 11, 保証期間が過ぎているが修理によって機能回復するもの
- 12, その他修理で依頼時に使用の方法、環境その他に虚偽が判明した場合

使い方や修理のご相談など

※弊社出張修理サービス等は行っておりません。修理・点検ご希望の際は次頁サポートセンターへご相談ください。修理ご依頼の場合はご購入上げ店に、原則はお持ち込みとなりますが、送付の場合は次頁をご覧ください。

廃棄時のご注意

- 家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの家電製品を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

部品の保有年数に関して

- 修理品の部品保有年数は製造日より5年間をメドにしておりますが、在庫が無くなり次第終了となります。

保証書

品番：OT-WFD14TE-WH

v1.0

品名：14インチ 防水 フルセグ DVDプレーヤー

お名前
ご住所〒

電話番号

販売店
住 所
電話番号

印

お買い上げ日 西暦 年 月 日
保証期間 お買い上げ日より1年間(本体のみ)

係 名
備 考

この度は弊社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
重要な規定、告知、注意点がありますので必ず前ページと下記をお読みください。

テレビ電波受信につきましての保証はしておりません。*本書内で参照 チューナーの不良以外は修理受付はできません。

- 1, 本書保証書は再発行はしませんので大切に保管してください。
- 2, 上部記入・押印欄に不備がありますと保証期間でありましても有償修理となります(前頁で参照)。
 - ・お買い上げ日や販売店名の手書きのみは無効です。お買い上げ店の印も原則必要となります。
 - ・品番、日にちが証明できるレシート、伝票、納品書等他上記が揃っていない場合はお買い上げ店にお申し出て必ず入手してください。ネットで購入した際のメールは保存しておいてください。
- 3, 修理の場合※本書と販売が証明出来る書を提示してください。提示が無い場合は有償となります。以下注意事項
 - ・店頭でお買い上げ -- 販売店に持込み修理依頼となります(流通経路を経て弊社に届きますので日数は要します)。
- 4, 修理を依頼される場合は保存された大事なデータやファイルは必ず事前バックアップして下さい。弊社で復元や複製及びバックアップの作業は一切行っておりません。
- 5, 修理作業の際、工場出荷時に戻す場合がありますので、設定値等は事前メモしてください。
- 6, 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty valid only Japan
- 7, 他社製品との接続互換性や設置方法などはサポートしておりません。

修理をご依頼をされる場合はご使用の方法や環境等は検証のため正確に知らせていただくようお願いします。

下記センターは使用方法、修理のお問合せや依頼、その他付属品に関するお問い合わせを受付しております。
その他はお買い上げ店にお問い合わせしてください。

修理のご依頼前に本書内の該当ページや「トラブルシューティング」を今一度お読みください。

販売元：ダイヤモンドヘッド株式会社 〒108-0073 東京都港区三田2-7-13 TDS三田ビル 6F

お客様サポートセンターのご案内

製品に関するお問い合わせ窓口

0570-02-1184

受付時間：10時～17時
(土、日、祝日、および弊社指定休業日を除く)
〒331-0811
埼玉県さいたま市北区吉野町1-359-32

●ホームページからのお問い合わせ
<http://www.tsnetwork.jp/support/>
からもお問い合わせいただけます。

<個人情報の取扱いにつきまして>保証書にご記入いただいた個人情報につきましては本製品保証に関わる業務においてのみ利用します。尚、本目的遂行のために製造工場に提供することがあります。